

防災に関するアンケート結果

平成 27 年 1 月

広島県

目 次

I. 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収結果	1
4. 本報告書の見方について	1
5. 回答者の属性	2

II. 調査結果の詳細

1. 行動目標(案)の 災害の危険性等を「知る」	
(1) 知りたいと思っている災害	3
(2) ハザードマップなどで地域の危険性を確認したことの有無	5
(3) 避難場所・避難経路の確認状況	11
(4) 気象情報や防災情報の意味の認知度	13
2. 行動目標(案)の 災害発生をいち早く「察知する」	
(1) 大雨や台風の際の注意報や警報等の情報入手方法	17
(2) 『現在の雨量の情報』の入手方法	20
3. 行動目標(案)の「判断」して適切に「行動する」	
(1) 大雨や台風の場合の行動開始時点	25
(2) 大雨や台風の場合、行動をとらない理由	27
4. 行動目標(案)の 災害を「学ぶ」	
(1) 地域や職場での防災活動参加状況	28
(2) 参加した防災活動	30
(3) 防災活動に参加しなかった理由	32
(4) 家族で防災対策について話し合ったことの有無	33
5. 行動目標(案)の 災害に「備える」	
(1) 災害に備えて行っていること、災害に備えて重要であると思うこと	34
(2) 自宅の家屋の建築時期	36
(3) 自宅の耐震診断実施の有無	37
(4) 耐震診断の結果	38
(5) 耐震診断を行わない理由	39

参考資料

調査票

I. 調査の概要

1. 調査の目的

県民総ぐるみ運動の行動目標（案）を「命を守るために、県民自らが、災害の危険性等を知る、災害発生をいち早く察知する、判断して適切に行動する、災害を学ぶ、災害に備える」としている。今後、それぞれの目標に向けた取組を検討する上において、現在の県民の実態を把握する。

2. 調査の設計

- | | |
|------------|--------------------------|
| (1) 調査地域 | 広島県全域（広島市を除く） |
| (2) 調査対象 | 県内在住の満20歳以上男女 |
| (3) 標本数 | 2,000人 |
| (4) 抽出方法 | 層化2段無作為抽出法(選挙人名簿により抽出) |
| (5) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収 |
| (6) 調査実施期間 | 平成26年11月25日（火）～12月12日（金） |

3. 回収結果

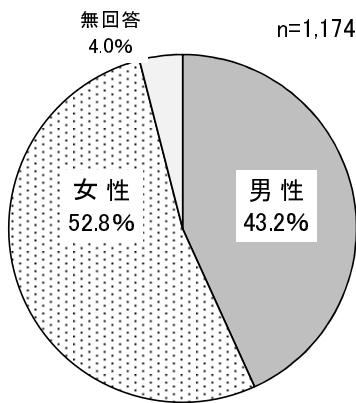
- | | |
|-----------|--------|
| (1) 有効回収数 | 1,174票 |
| (2) 有効回収率 | 58.7% |

4. 本報告書の見方

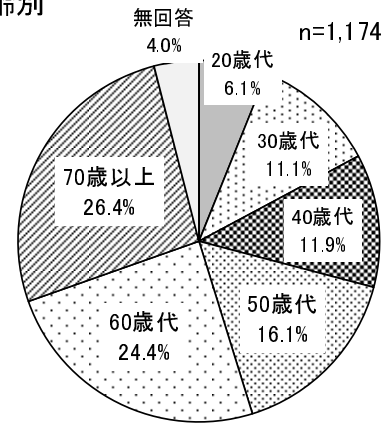
- (1) 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 「複数回答」とある設問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問である。したがって、各回答の合計比率が100%を超える場合がある。
- (3) 母数となるべき実数は、「n=〇〇〇」として掲載し、各比率はnを100%として算出した。
- (4) 回答数の少ない質問については、参考値として掲載した。

5. 回答者の属性

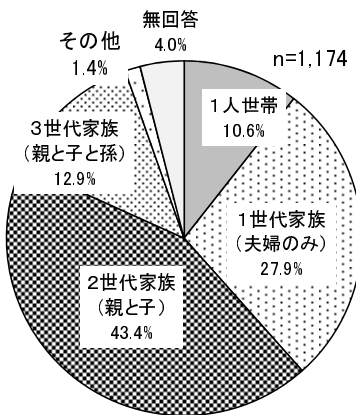
(1) 性別



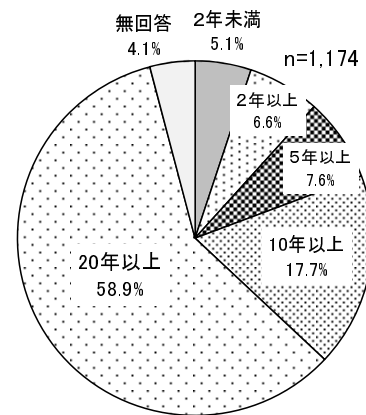
(2) 年齢別



(3) 家族構成



(4) 居住年数



■性別

項目	件数	全体
男性	507	43.2
女性	620	52.8
無回答	47	4.0
計	1,174	100.0

■年齢別

項目	件数	全体
20歳代	72	6.1
30歳代	130	11.1
40歳代	140	11.9
50歳代	189	16.1
60歳代	286	24.4
70歳以上	310	26.4
無回答	47	4.0
計	1,174	100.0

■家族構成

項目	件数	全体
1人世帯	124	10.6
1世代家族(夫婦のみ)	327	27.9
2世代家族(親と子)	509	43.4
3世代家族(親と子と孫)	151	12.9
その他	16	1.4
無回答	47	4.0
計	1,174	100.0

■居住年数

項目	件数	全体
2年未満	60	5.1
2年以上	78	6.6
5年以上	89	7.6
10年以上	208	17.7
20年以上	691	58.9
無回答	48	4.1
計	1,174	100.0

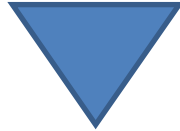
II. 調査結果の詳細

1. 行動目標(案)の 災害の危険性等を「知る」

(1) 知りたいと思っている災害

Q1 あなたは、どの災害について、特に知りたいと思っていますか。〔〇はいくつでも〕

- | | | | |
|---------|--------|-----------|---------|
| 1 地震 | 2 津波 | 3 台風(暴風雨) | 4 豪雨 |
| 5 河川の氾濫 | 6 高潮 | 7 土砂災害 | 8 豪雪・雪崩 |
| 9 特にない | 10 その他 | | |



【集計結果】 <複数回答>

- 「地震」84.7%、「台風(暴風雨)」71.7%、「豪雨」56.0%、「土砂災害」43.8%の順に多い。

図 1-1 知りたいと思っている災害

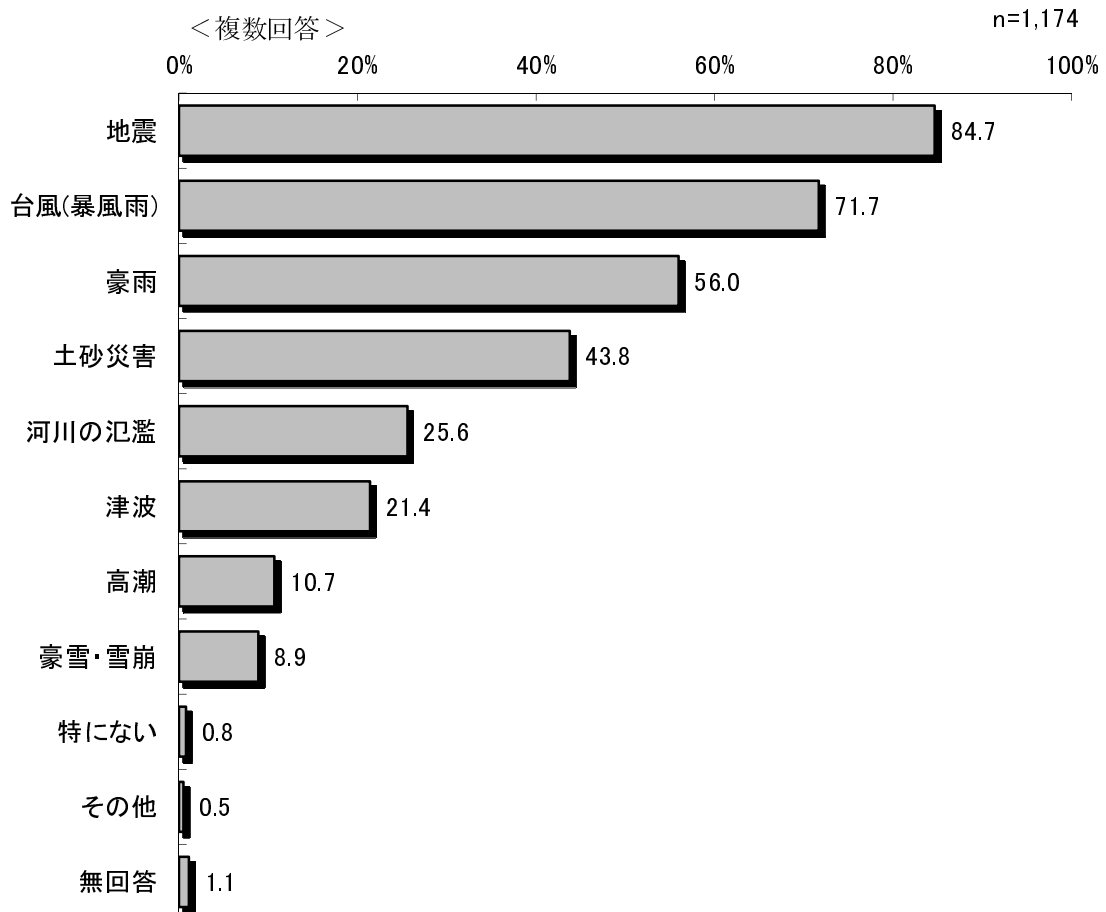
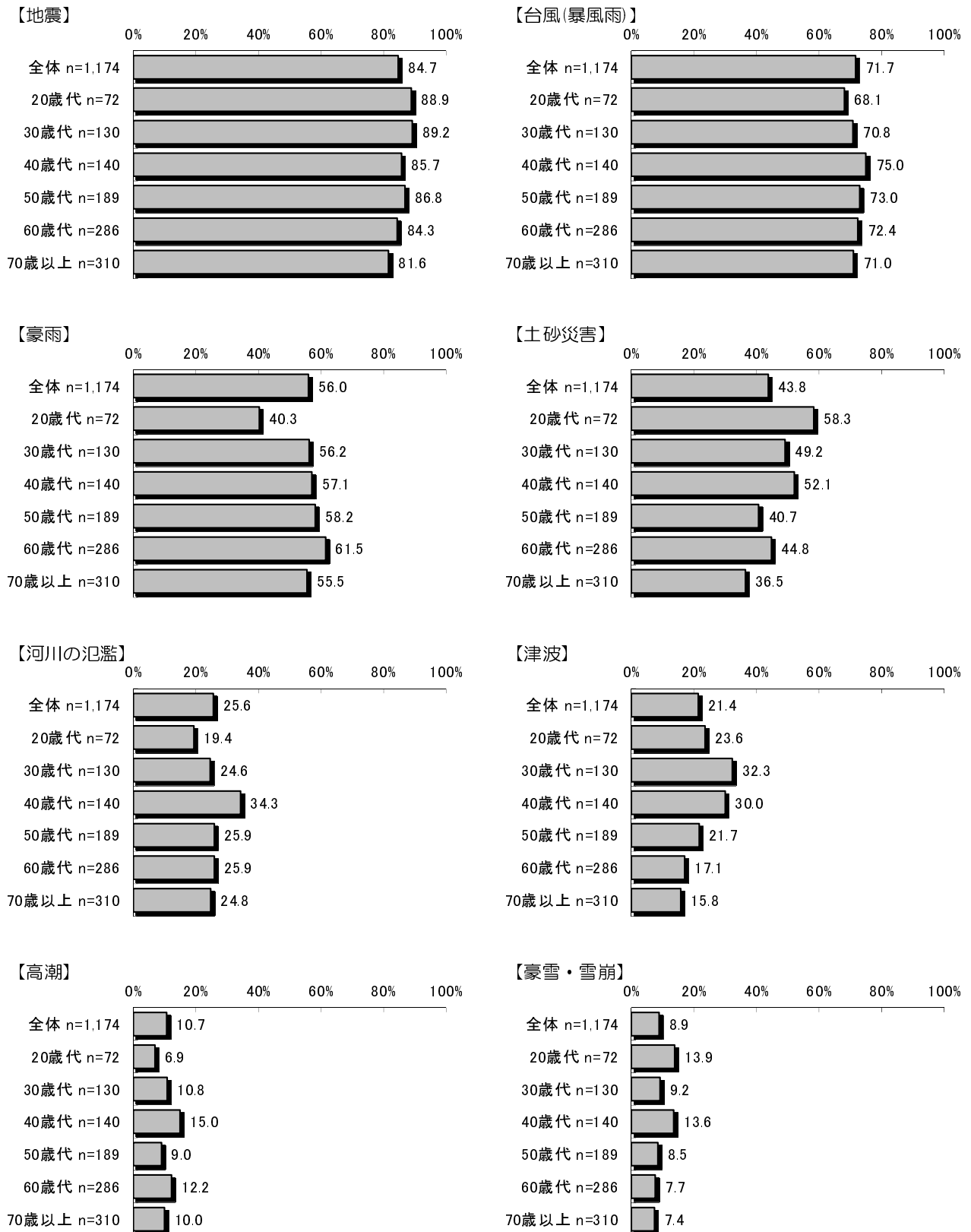


図1-2 知りたいと思っている災害〔年齢別〕

〈複数回答〉



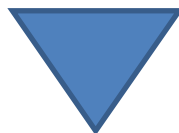
(2) ハザードマップなどで地域の危険性を確認したことの有無

Q2 あなたは、インターネットサイト※1や配布されたハザードマップ※2などで、お住まいの地域に地震、津波、洪水、高潮、土砂災害などの危険性があるかどうかを確認したことがありますか。〔それぞれ〇は1つ〕

※1 インターネットサイトとは、「広島県防災 web」で県が公開している「土砂災害ポータル」、「高潮・津波災害ポータル」や市町のホームページなど

※2 ハザードマップとは、自然災害の危険が予想される範囲や避難場所などの防災情報を示した地図のこと

項 目	マップは知っている		マップの存在を知らない
	確認したことがある	確認したことはない	
1. 県の防災Webまたは市町のホームページなどインターネット(Web)上で公開しているハザードマップ	1	2	3
2. 市町が紙に印刷して配布したハザードマップ	1	2	3
3. 地域住民が独自に作成した防災マップ	1	2	3

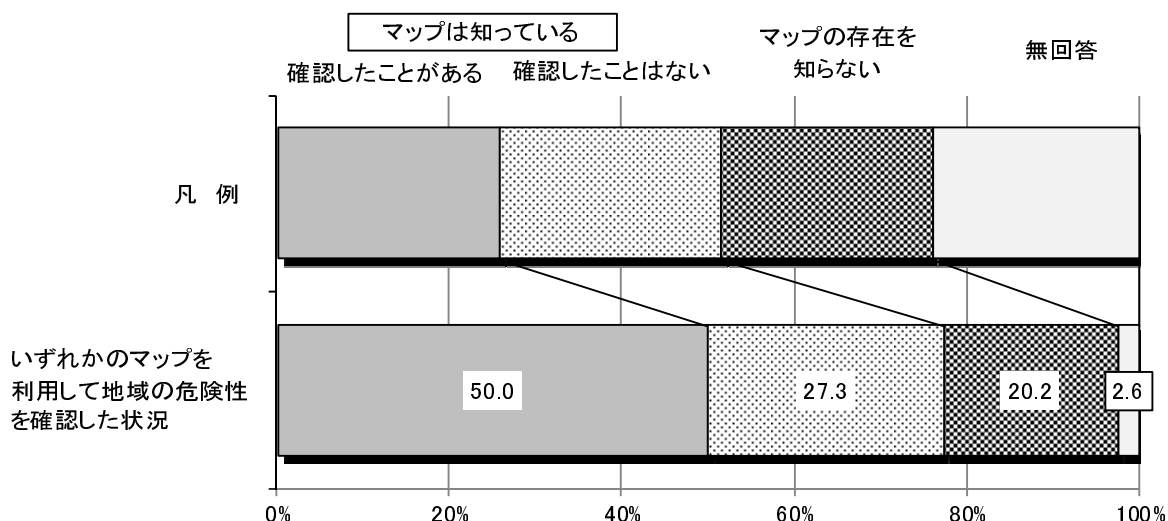


【集計結果】

■ いずれかのマップを利用して地域の危険性を確認した状況

- 「インターネット(Web)上で公開しているハザードマップ」、「市町が紙に印刷して配布したハザードマップ」、「地域住民が独自に作成した防災マップ」のいずれか1種類でも
「マップは知っている」は77.3%
そのうち、地域の危険性を「確認したことがある」は50.0%
- 「マップの存在を知らない」が20.2%

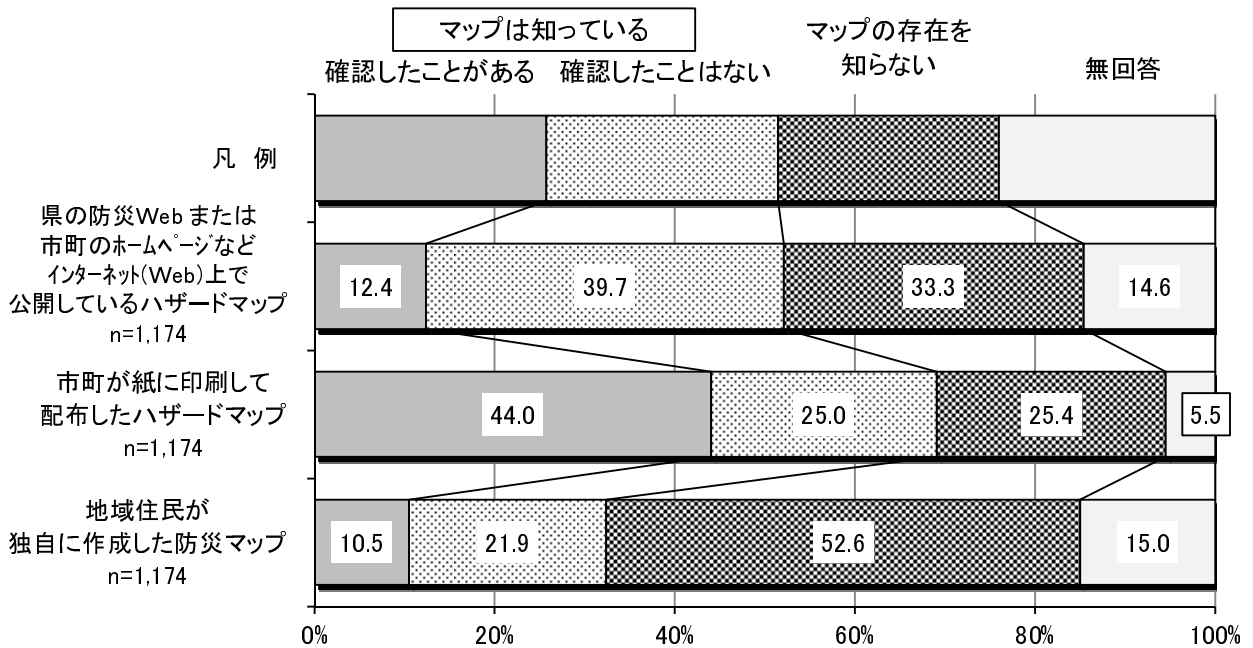
図2-1 ハザードマップなどで地域の危険性を確認したことの有無



■ 項目別

- 「インターネット(Web)上で公開しているハザードマップ」を知っている人は52.1%、
そのうち、地域の危険性を「確認したことがある」は12.4%
- 「市町が紙に印刷して配布したハザードマップ」を知っている人は69.0%
そのうち、地域の危険性を「確認したことがある」は44.0%
- 「マップの存在を知らない」のは
『インターネット(Web)上で公開しているハザードマップ』 33.3%
『市町が紙に印刷して配布したハザードマップ』 25.4%
『地域住民が独自に作成した防災マップ』 52.6%

図 2-2 ハザードマップなどで地域の危険性を確認したことの有無〔項目別〕



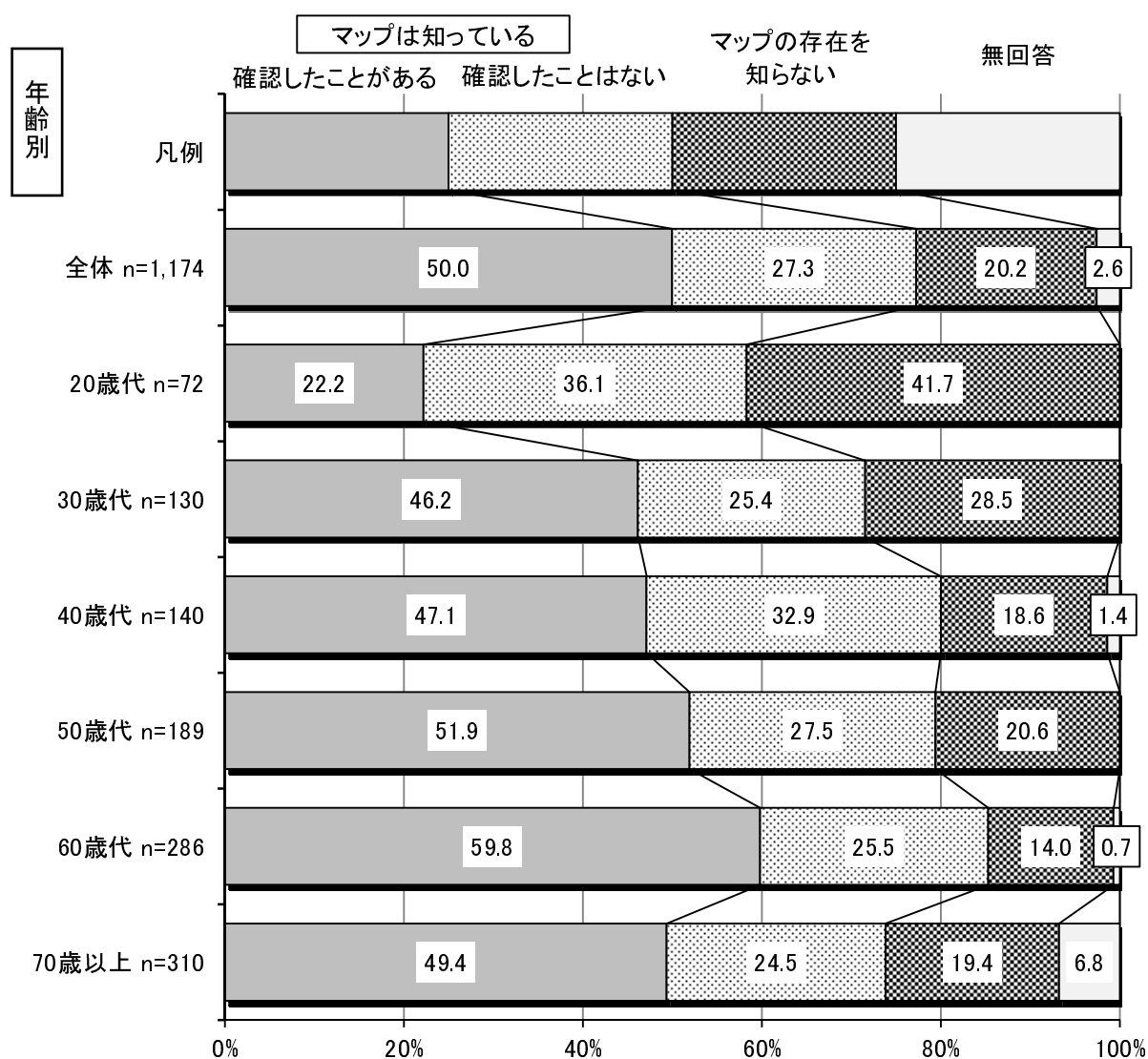
① いずれかのマップを利用

◇年齢別

- ・ いずれか1種類でも、マップで地域の危険性を「確認したことがある」は、概ね年齢が上がるほど高くなっている。
- ・ 20歳代では、地域の危険性を「確認したことがある」は22.2%にとどまっている。
- ・ 「マップの存在を知らない」は、20歳代が41.7%、30歳代が28.5%と高い。

図 2-3 ハザードマップなどで地域の危険性を確認したことの有無〔年齢別〕

■いずれかのマップを利用



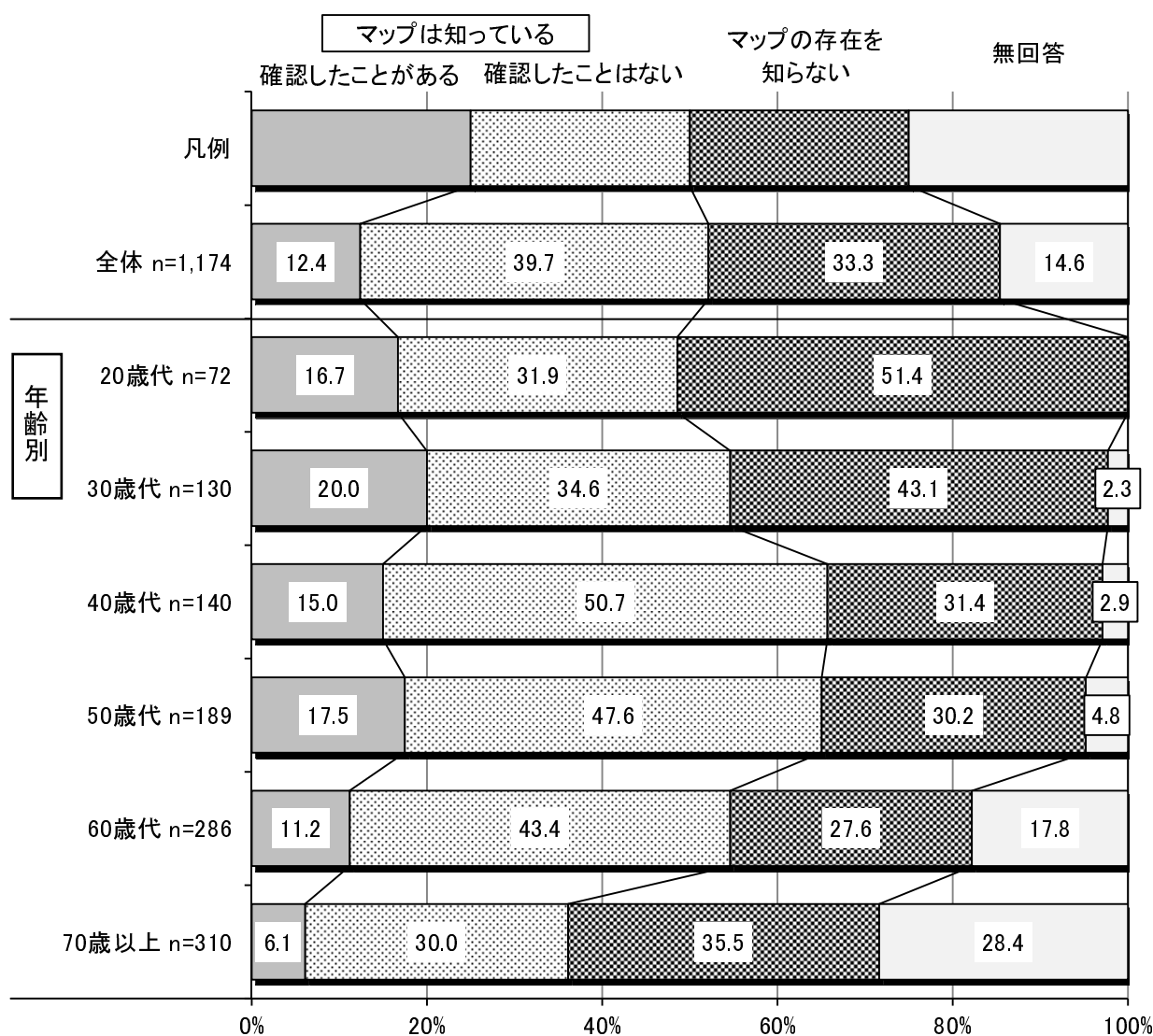
② 県の防災Web または市町のホームページなどインターネット(Web)上で公開している
ハザードマップ

◇年齢別

- ・ 『マップは知っている』は、40歳代、50歳代が高いが、地域の危険性を「確認したことがある」はそれぞれ15.0%、17.5%
- ・ 「マップの存在を知らない」は、インターネットをよく利用する世代であるにも関わらず、20歳代、30歳代がそれぞれ51.4%、43.1%と高い。

図 2-4 ハザードマップなどで地域の危険性を確認したことの有無〔年齢別〕

■県の防災Web または市町のホームページなどインターネット(Web)上で公開しているハザードマップ



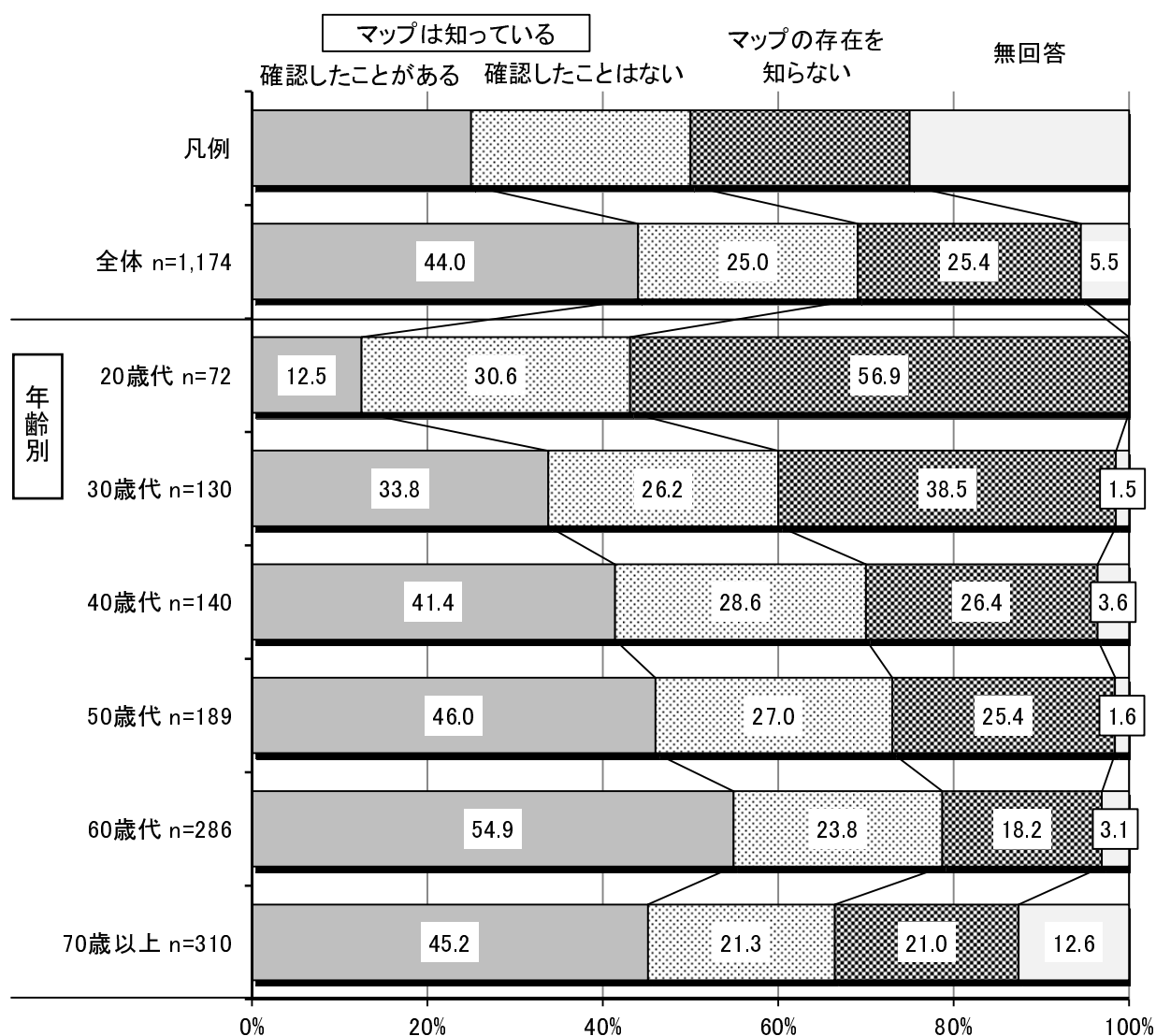
③ 市町が紙に印刷して配布したハザードマップ

◇年齢別

- ・ 『マップは知っている』のうち、地域の危険性を「確認したことがある」は、概ね年齢が上がるほど高くなっている。
- ・ 「マップの存在を知らない」は、概ね年齢が下がるほど高くなっている。

図 2-5 ハザードマップなどで地域の危険性を確認したことの有無〔年齢別〕

■市町が紙に印刷して配布したハザードマップ



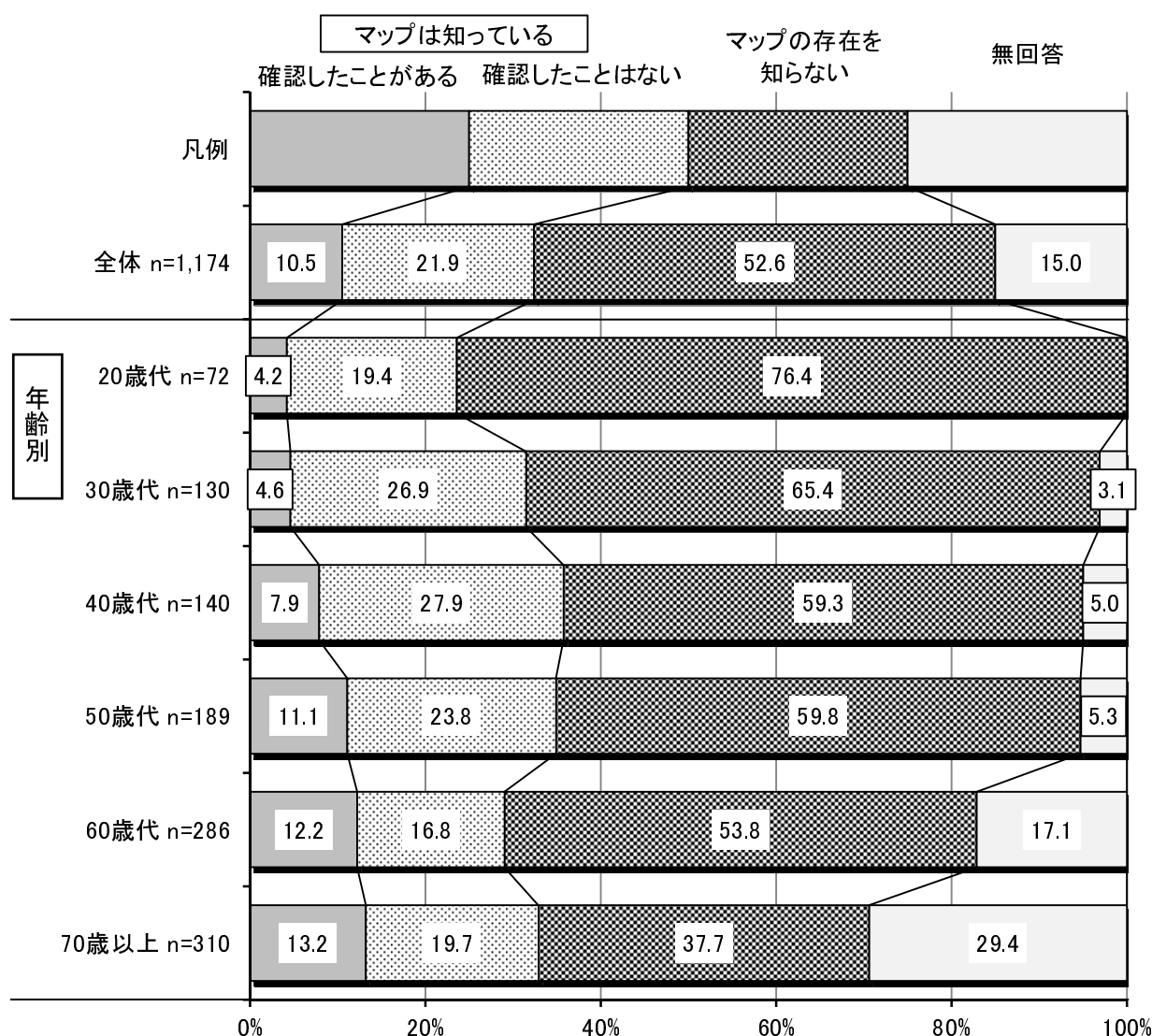
④ 地域住民が独自に作成した防災マップ

◇年齢別

- ・ 『マップは知っている』のうち、地域の危険性を「確認したことがある」は、年齢が上がるほど高くなっているが、最大でも70歳以上で13.2%と低い水準である。
- ・ 「マップの存在を知らない」は、年齢が下がるほど高くなっており、20歳代が76.4%と最も高い。

図 2-6 ハザードマップなどで地域の危険性を確認したことの有無〔年齢別〕

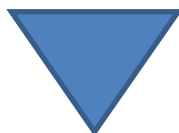
■地域住民が独自に作成した防災マップ



(3) 避難場所・避難経路の確認状況

Q3 あなたは、お住まいの地域の避難場所・避難経路を、災害の種類（地震、土砂災害、高潮等）に応じて確認していますか。〔〇は1つ〕

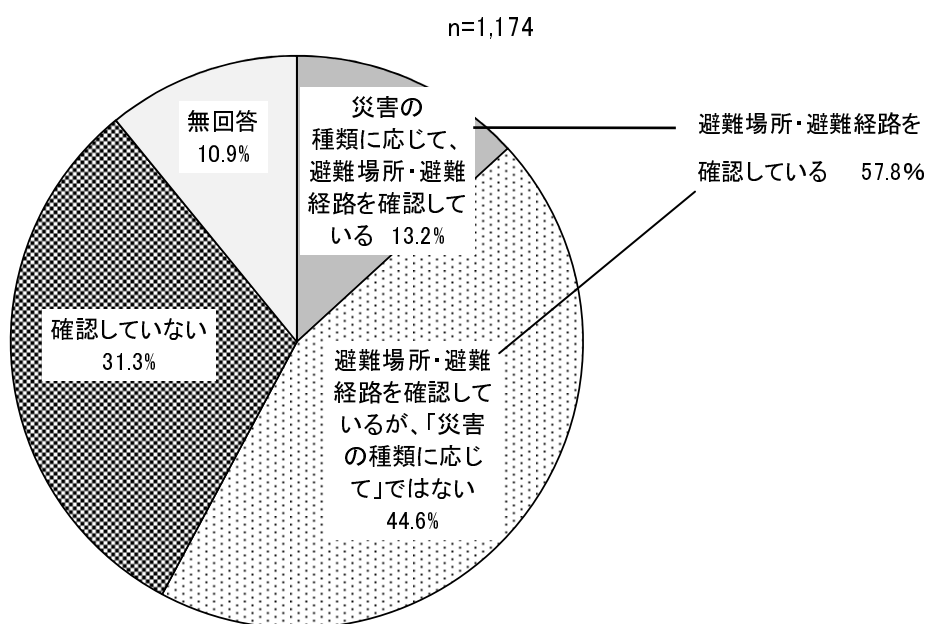
- 1 災害の種類に応じて、避難場所・避難経路を確認している
- 2 避難場所・避難経路を確認しているが、「災害の種類に応じて」ではない
- 3 確認していない



【集計結果】

- 『避難場所・避難経路を確認』できている人は57.8%
- そのうち、**「災害の種類に応じて、避難場所・避難経路を確認している」が13.2%**
「避難場所・避難経路を確認しているが、「災害の種類に応じて」ではない」が44.6%
- **「確認していない」が31.3%**

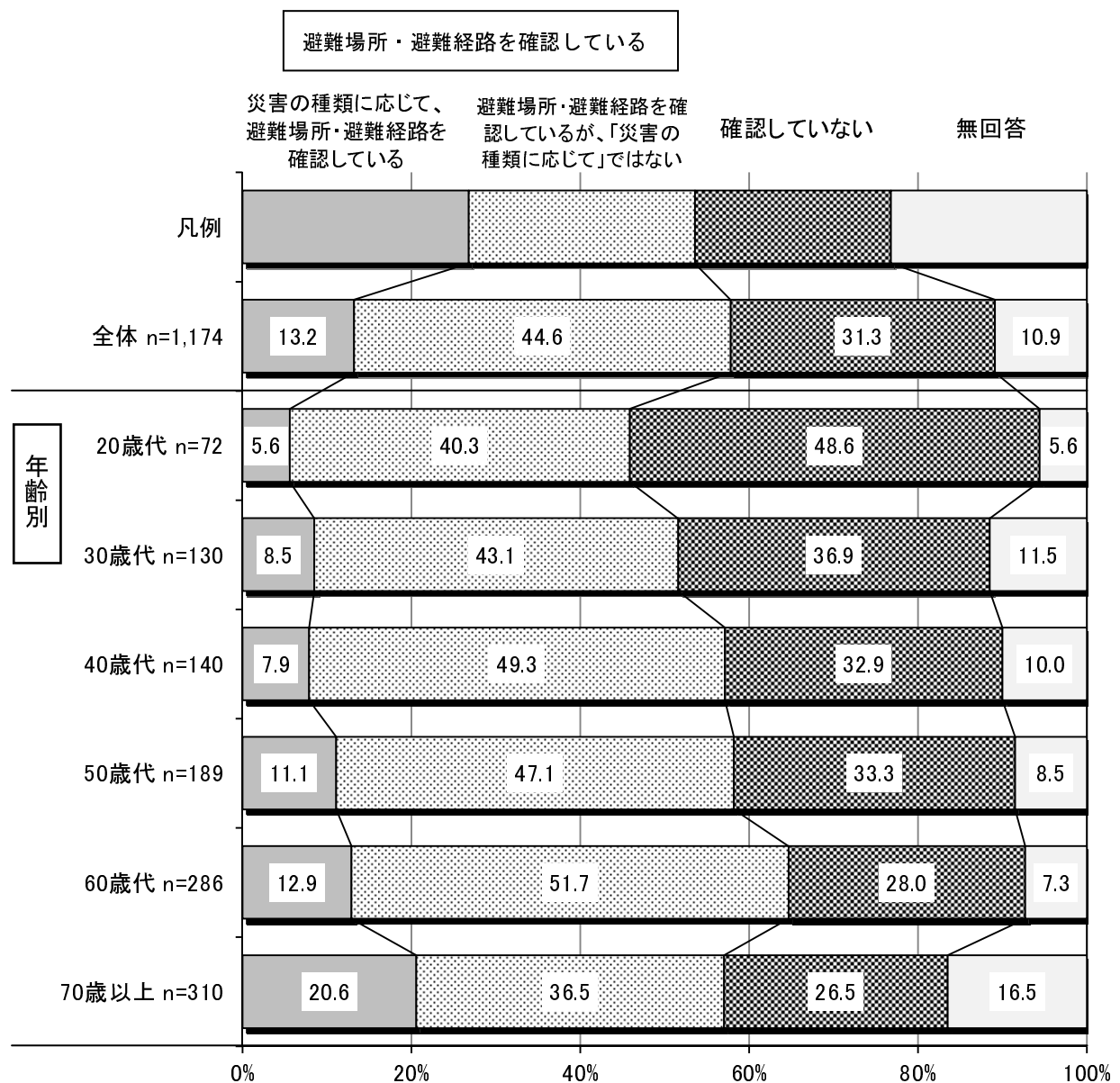
図 3-1 避難場所・避難経路の確認状況



◇年齢別

- ・ 「災害の種類に応じて、避難場所・避難経路を確認している」は、概ね年齢が上がるほど高くなっているが、最大でも70歳以上で20.6%と、低い水準である。
- ・ 「確認していない」は、概ね年齢が下がるほど高くなっている。

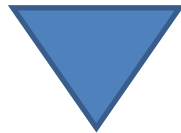
図 3-2 避難場所・避難経路の確認状況〔年齢別〕



(4) 気象情報や防災情報の意味の認知度

Q4 あなたは、次の気象情報や防災情報の意味を知っていますか。〔それぞれ〇は1つ〕

項目	知っている	ある程度知っている	言葉だけ聞いたことがある	まったく知らない
1. (大雨・洪水などの)警報	1	2	3	4
2. 土砂災害警戒情報	1	2	3	4
3. (大雨・洪水などの)特別警報	1	2	3	4
4. 避難準備情報	1	2	3	4
5. 避難勧告	1	2	3	4
6. 避難指示	1	2	3	4



【集計結果】

- ・ 「知っている」と「ある程度知っている」を合わせると6割前後になるものの、そのうち「知っている」と答えた人の割合は、20～30%程度にとどまっている。
- ・ 『避難準備情報』、『土砂災害警戒情報』は、「知っている」と答えた人の割合がそれぞれ18.4%、23.0%と低い。

図 4-1 気象情報や防災情報の意味の認知度

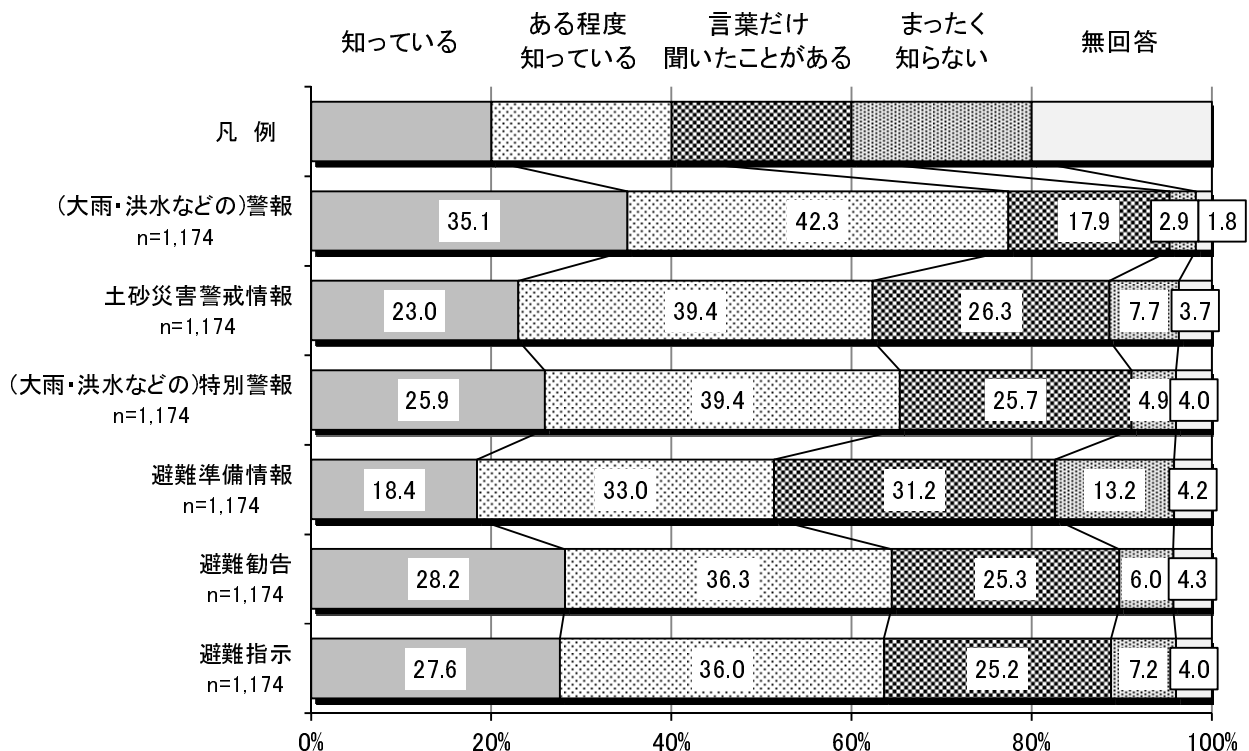
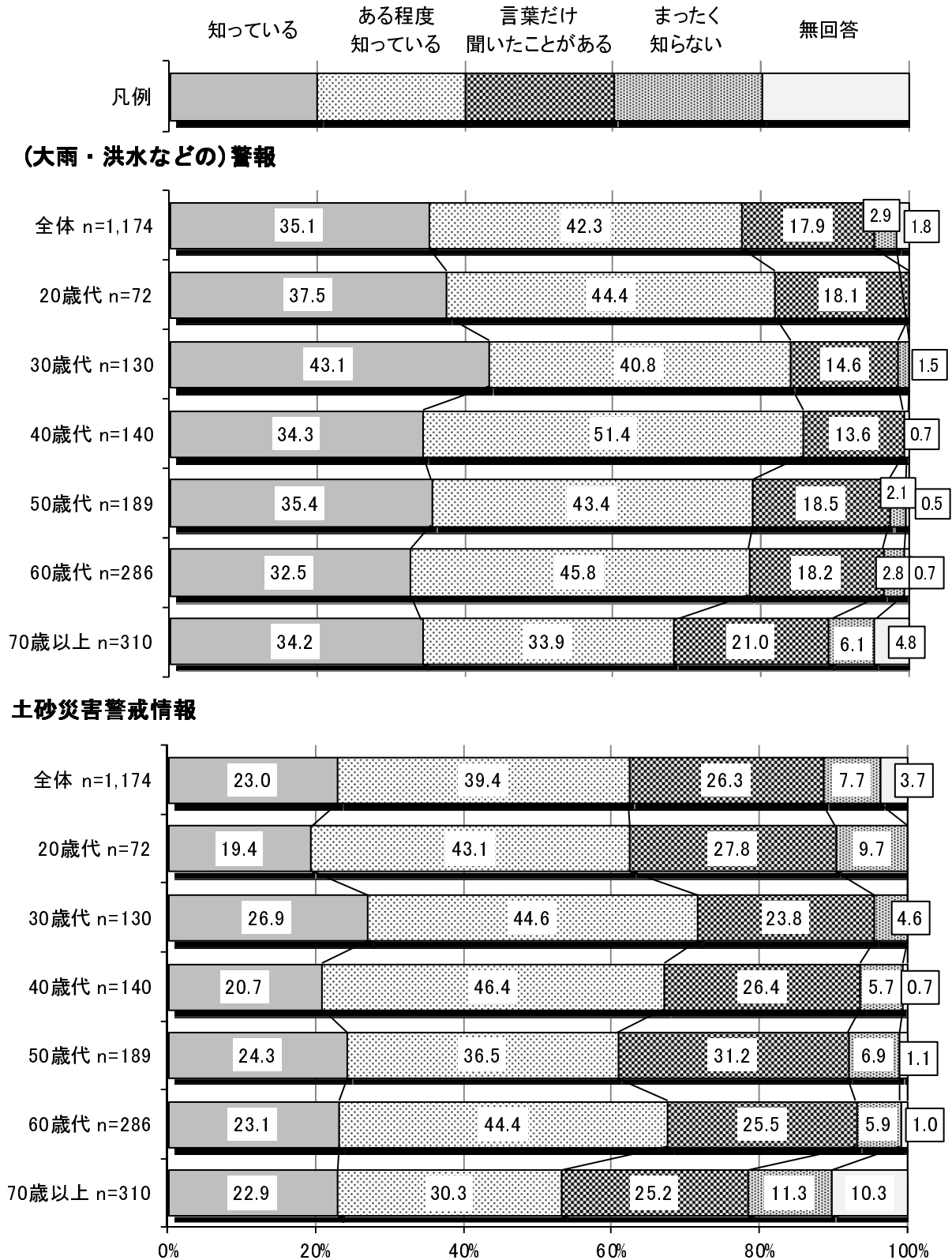
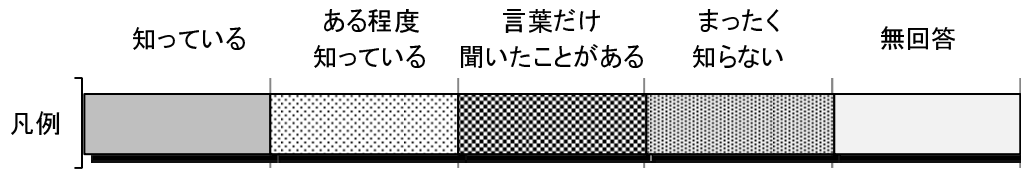
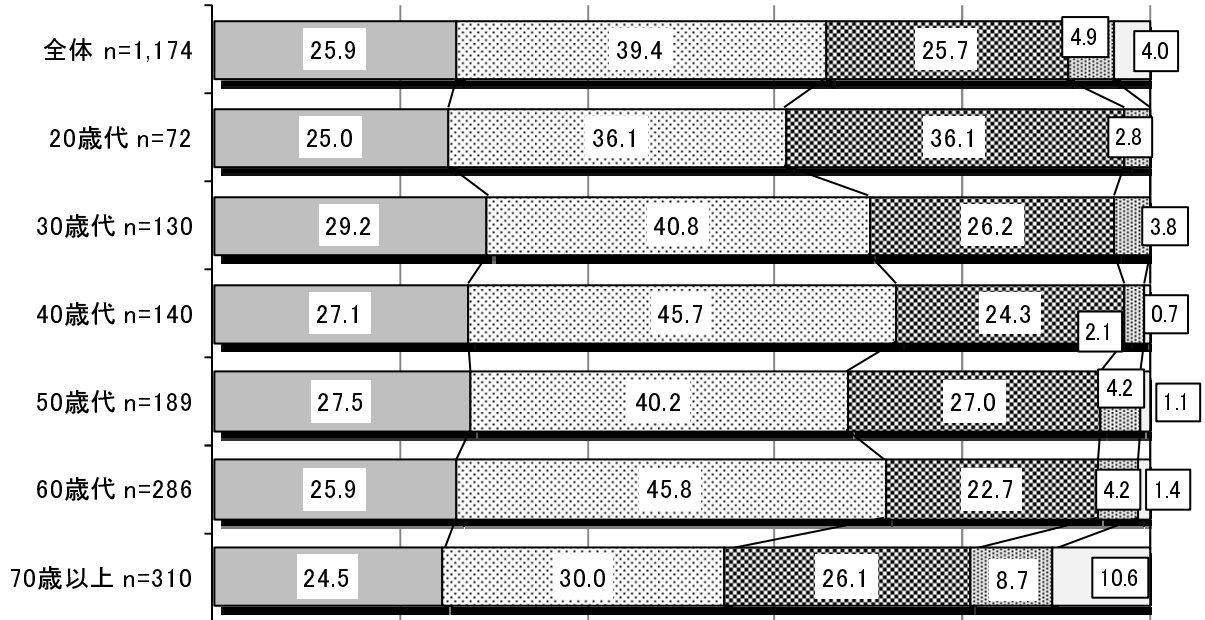


図 4-2 気象情報や防災情報の意味の認知度〔年齢別〕

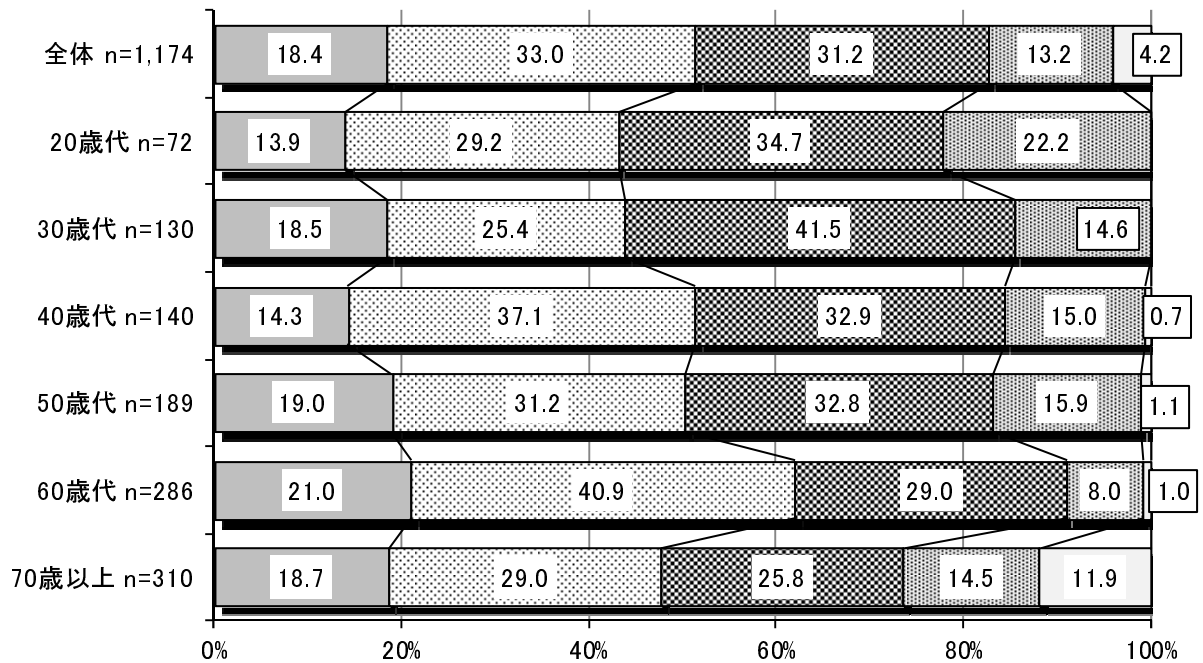


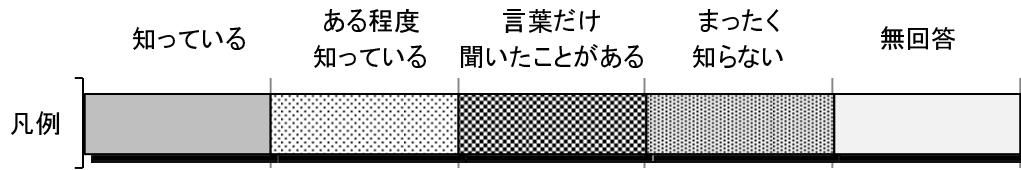


(大雨・洪水などの) 特別警報

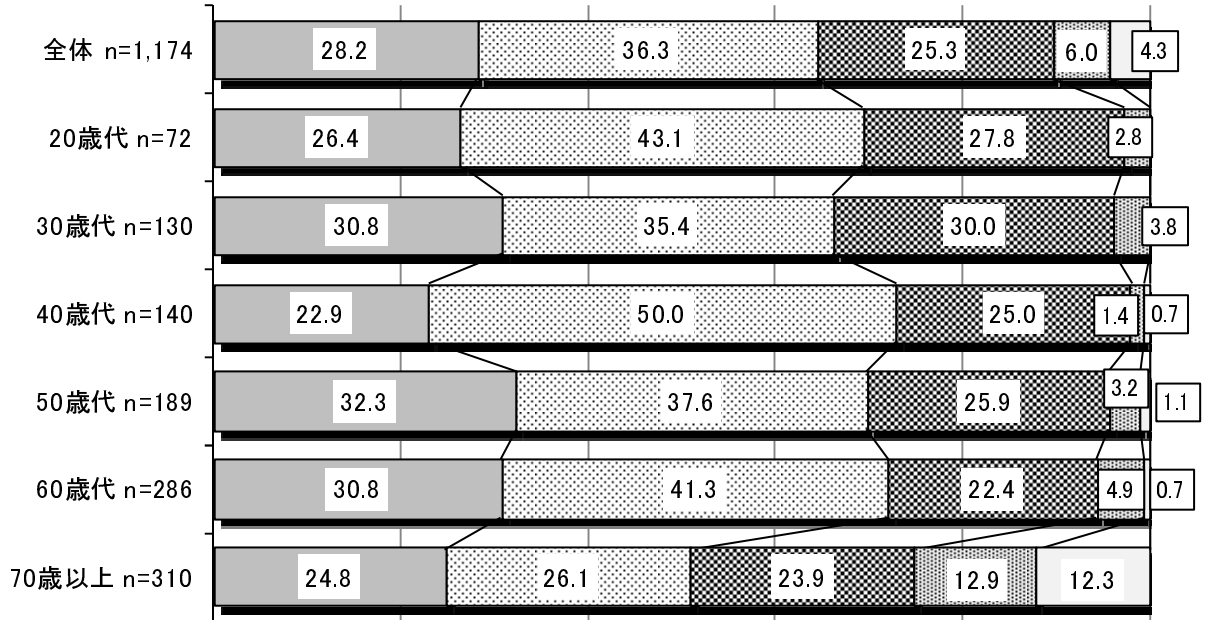


避難準備情報

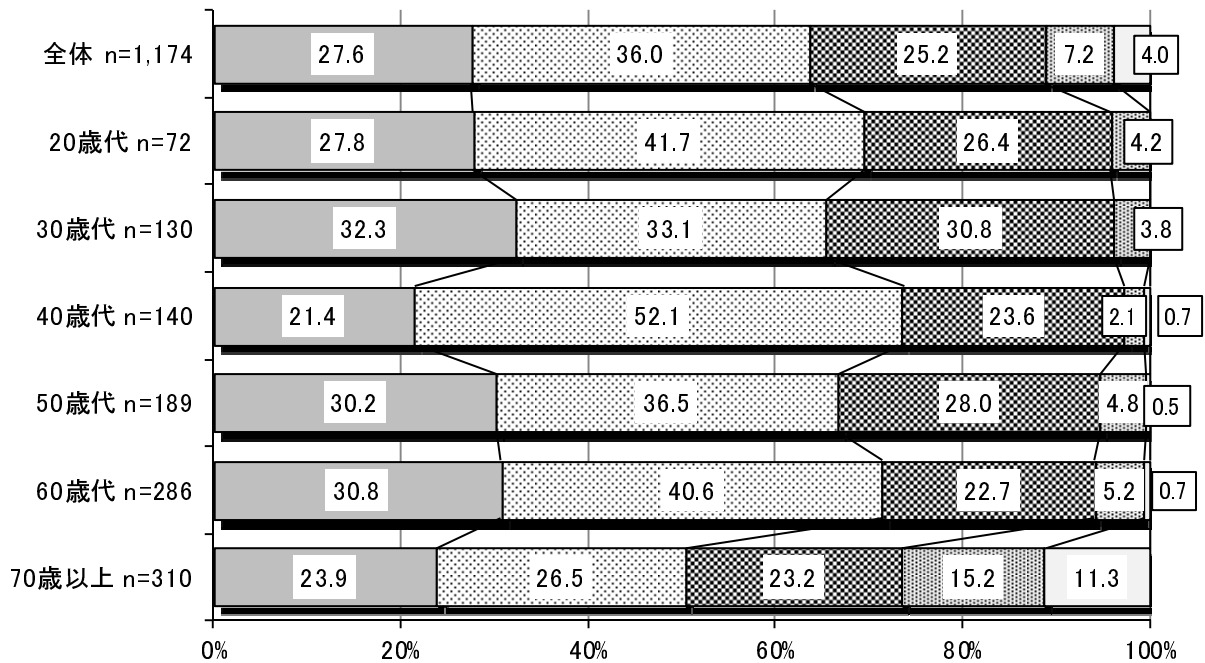




避難勧告



避難指示



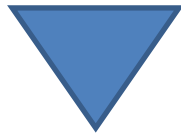
2. 行動目標(案)の 災害発生をいち早く「察知する」

(1) 大雨や台風の際の注意報や警報等の情報入手方法

Q5 あなたは、大雨や台風の際に、お住まいの地域の注意報や警報等に関する情報を、どこから入手しますか。〔〇はいくつでも〕

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1 テレビ | 2 ラジオ |
| 3 テレビのデータ放送※ | 4 インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む) |
| 5 県や市町の防災情報メール | 6 防災行政無線 |
| 7 市町の広報車 | 8 ツイッターやフェイスブックなどSNS |
| 9 消防署や消防団から | 10 町内会や自主防災組織から |
| 11 家族、友人、近所の方から | 12 その他 |
| 13 特に参考にしない | |

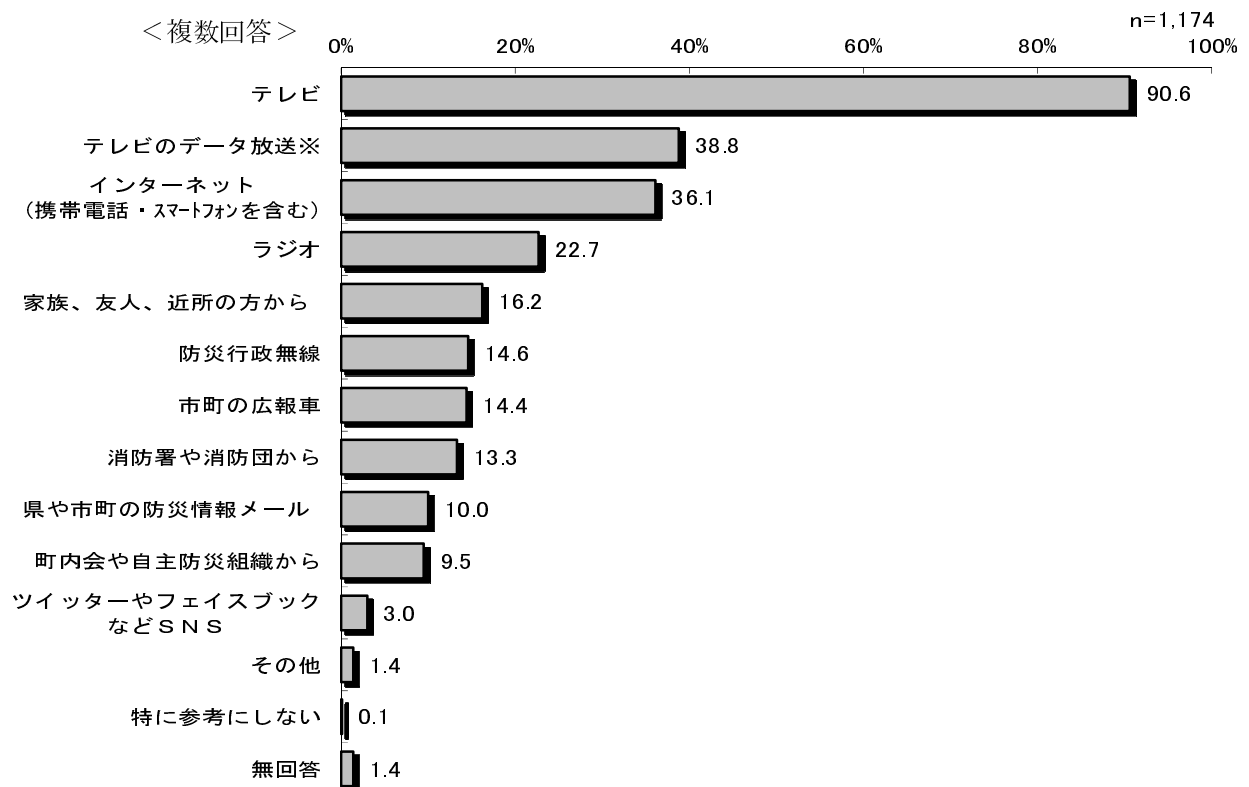
※ データ放送とは、テレビリモコンのdボタンを押すと表示される気象等の情報



【集計結果】 <複数回答>

- 注意報や警報等の情報入手方法については、「テレビ」が90.6%で最も多く、次いで「テレビのデータ放送」が38.8%、「インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)」が36.1%
- 「県や市町の防災情報メール」で情報を入手する人は10.0%**
- 「町内会や自主防災組織から」は9.5%**

図 5-1 大雨や台風の際の注意報や警報等の情報入手方法

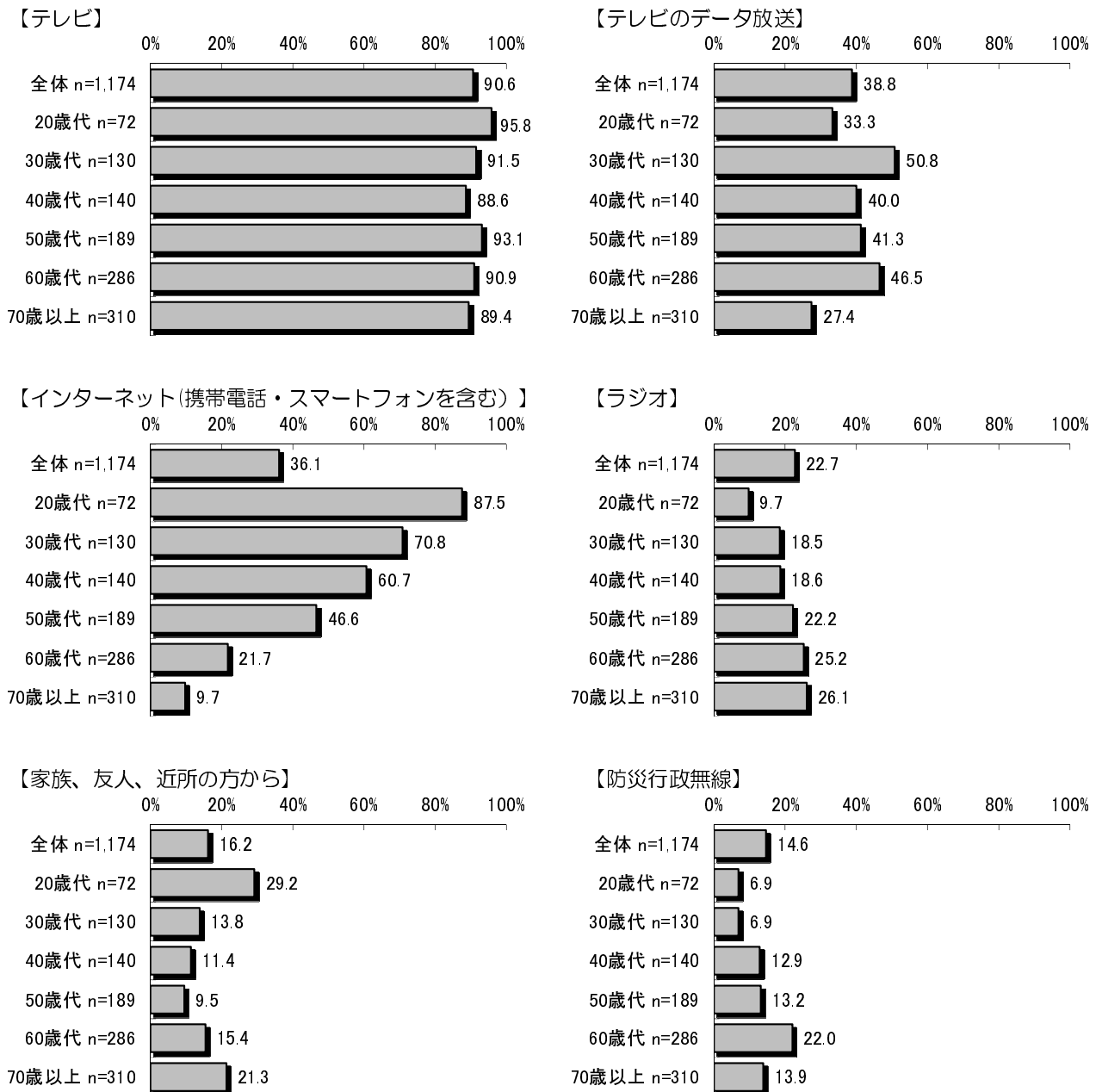


◇年齢別

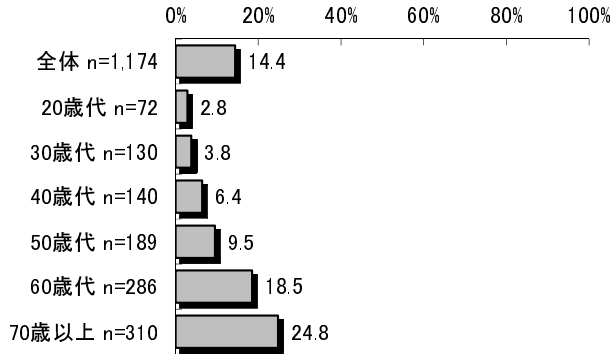
- ・ 「インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)」で情報を入手する人の割合は20歳代が87.5%と最も高く、年齢が上がるほど低くなっている。
- ・ 「防災行政無線」、「市町の広報車」、「消防署や消防団から」、「町内会や自主防災組織から」は、概ね年齢が上がるほど割合が高くなっている。

図 5-2 大雨や台風の際の注意報や警報等の情報入手方法〔年齢別〕

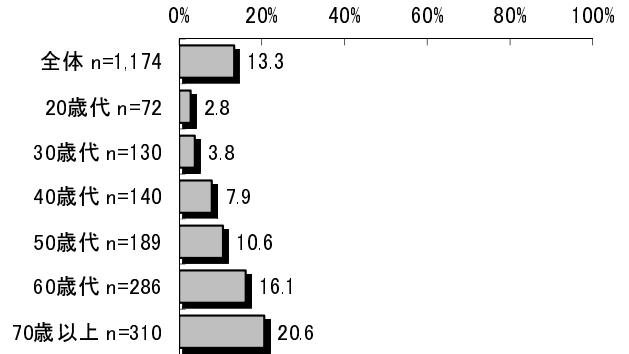
<複数回答>



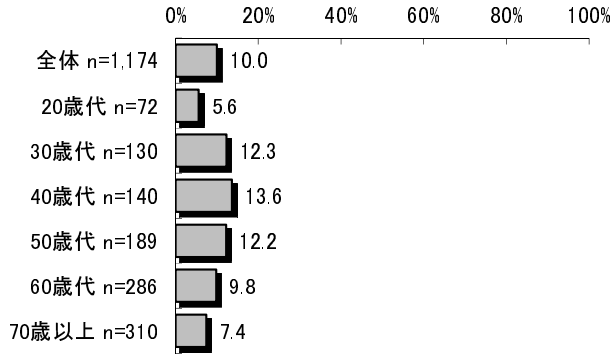
【市町の広報車】



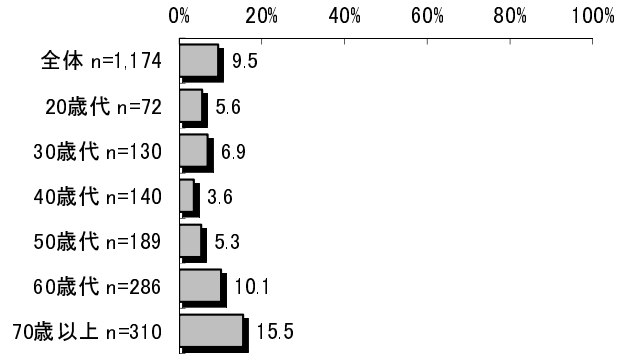
【消防署や消防団から】



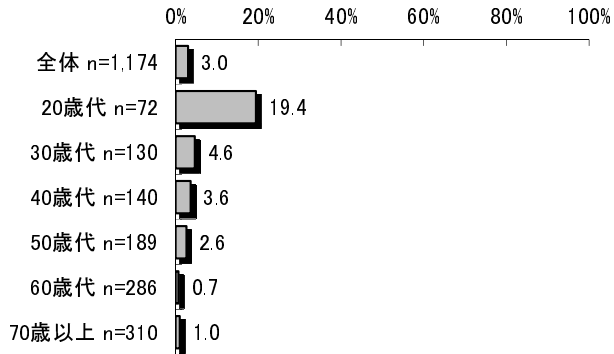
【県や市町の防災情報メール】



【町内会や自主防災組織から】



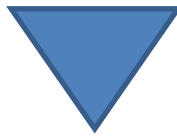
【ツイッターやフェイスブックなどSNS】



(2) 『現在の雨量の情報』の入手方法

Q6 あなたは、大雨や台風の際に、お住まいの地域の『現在の雨量の情報』を、どこから入手しますか。〔〇はそれぞれ1つ〕

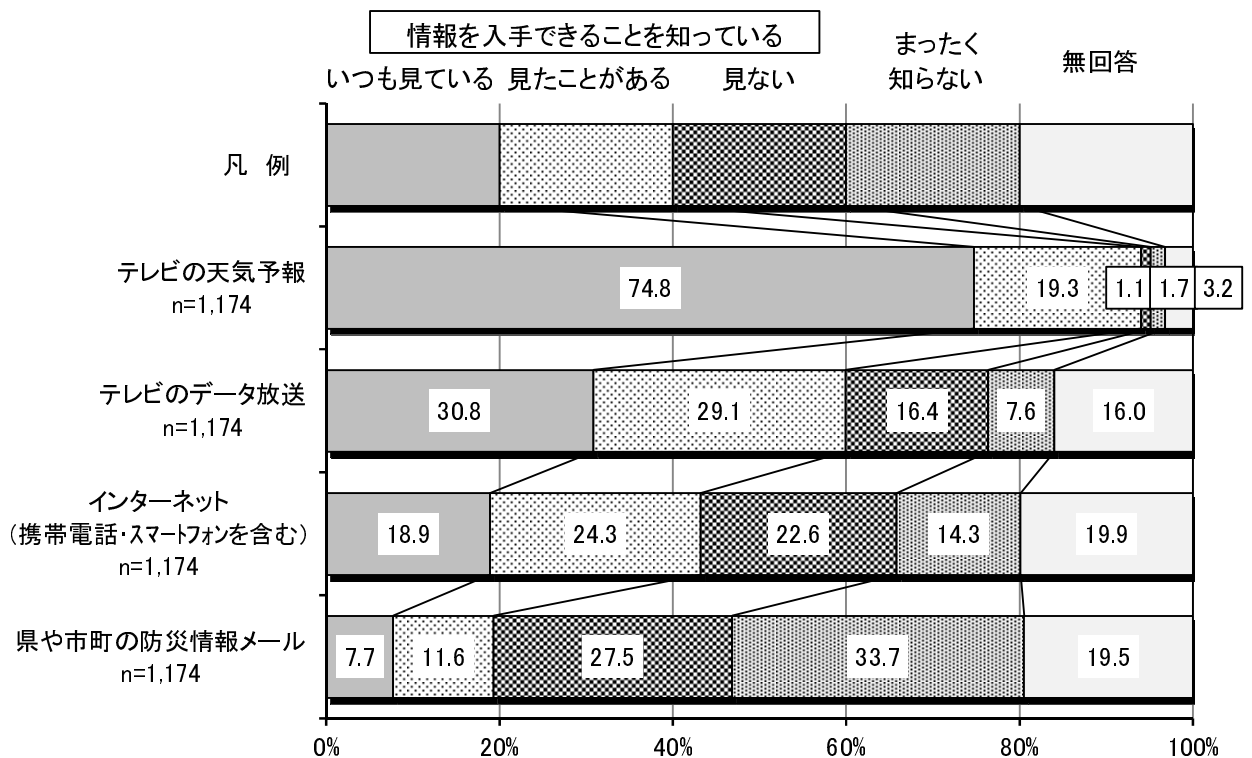
項目	情報を入手できることを知っている			まったく知らない
	いつも見ている	見たことがある	見ない	
1. テレビの天気予報	1	2	3	4
2. テレビのデータ放送	1	2	3	4
3. インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)	1	2	3	4
4. 県や市町の防災情報メール	1	2	3	4



【集計結果】

- 地域の雨量を「いつも見ている」のは(複数回答)
『テレビの天気予報』 74.8%
『テレビのデータ放送』 30.8%
『インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)』 18.9%
『県や市町の防災情報メール』 7.7%
- 『県や市町の防災情報メール』で情報を入手できることを知らない人 33.7%

図6-1 『現在の雨量の情報』の入手方法



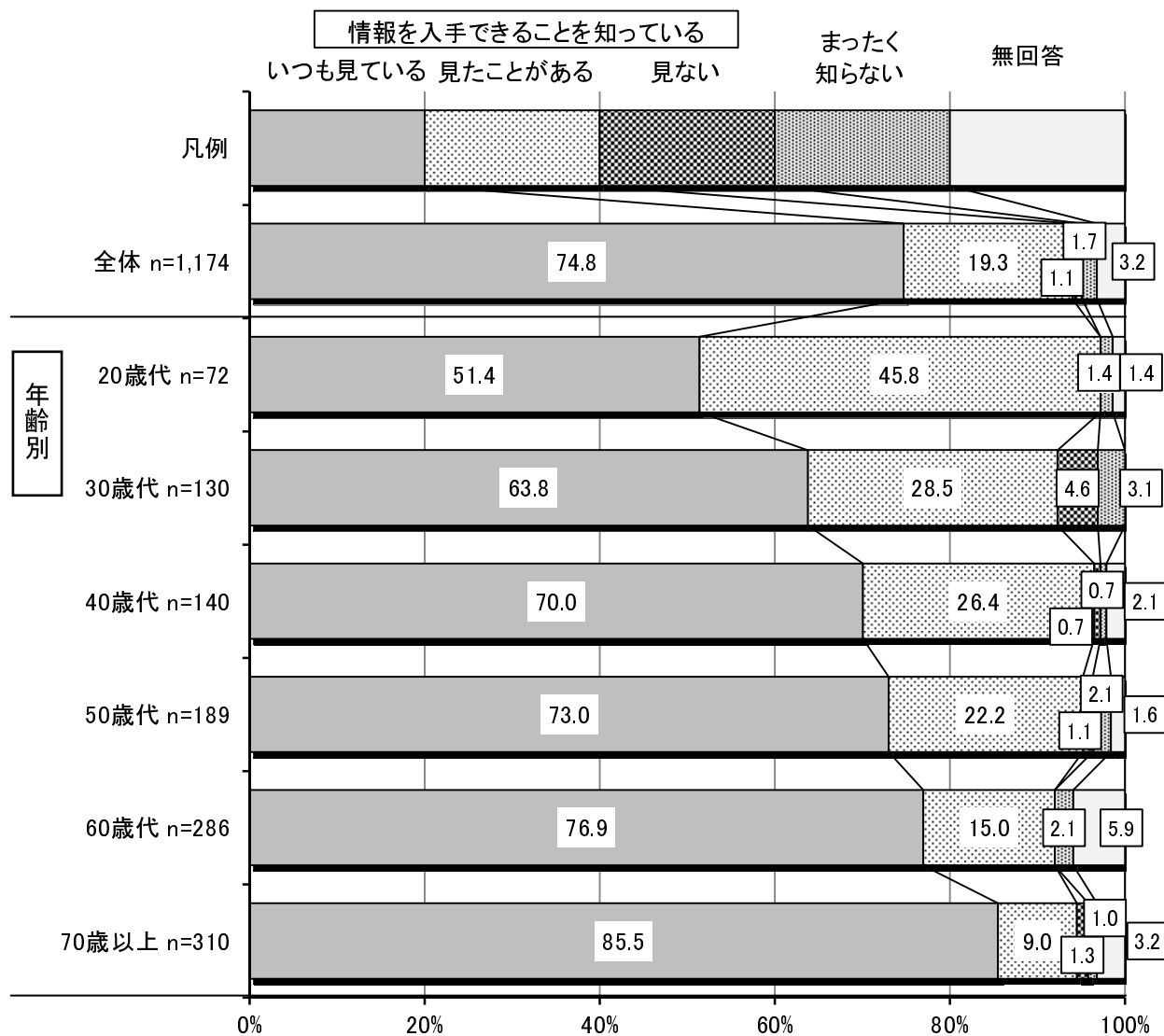
① テレビの天気予報

◇年齢別

- ・ 「いつも見ている」は年齢が上がるほど高くなっており、70歳以上が85.5%と最も高い。

図 6-2 『現在の雨量の情報』の入手方法〔年齢別〕

■テレビの天気予報



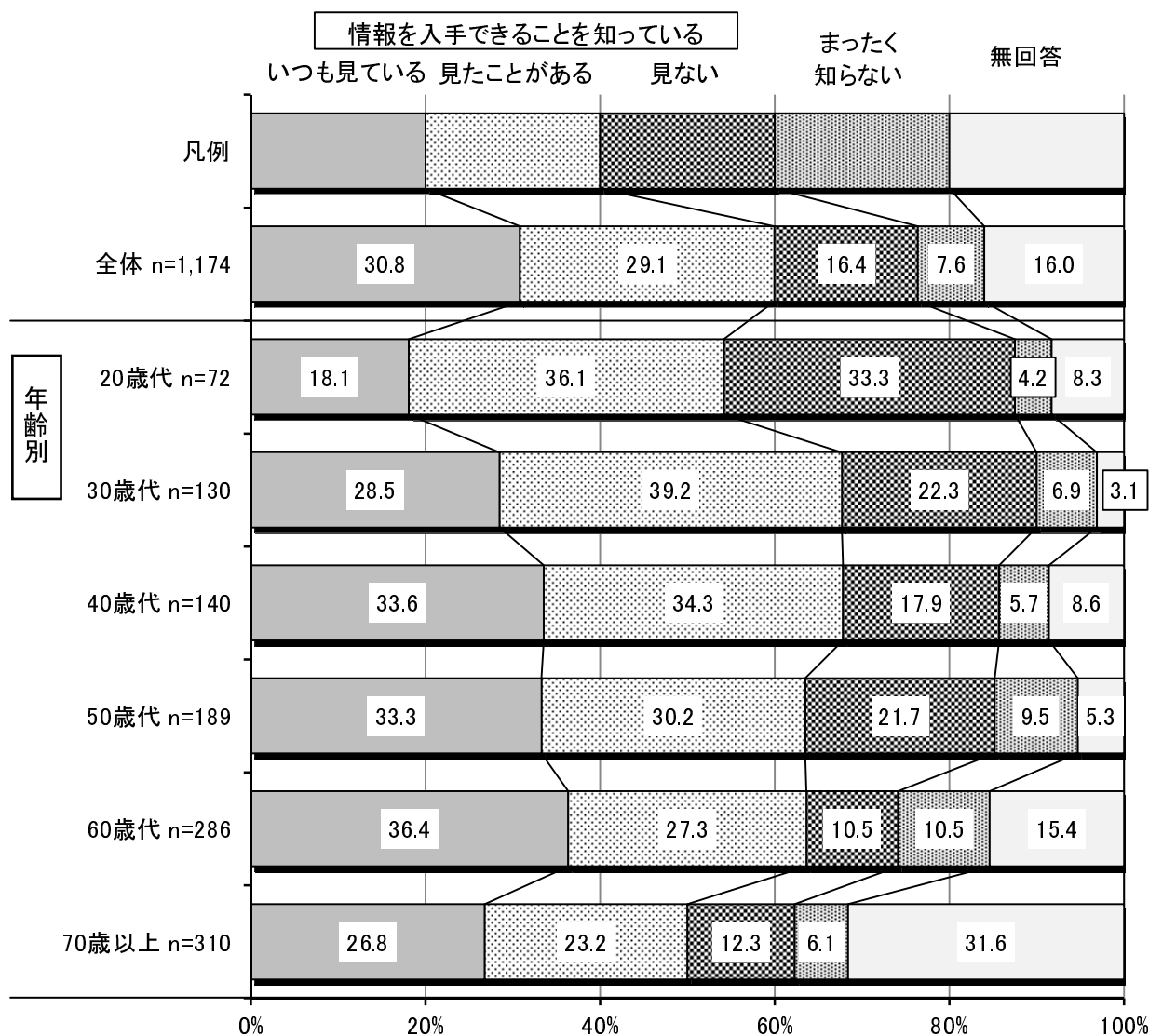
② テレビのデータ放送

◇年齢別

- ・ 「いつも見ている」は概ね年齢が上がるほど高くなっているが、『テレビの天気予報』に比べると低い水準にとどまっている。

図 6-3 『現在の雨量の情報』の入手方法〔年齢別〕

■テレビのデータ放送



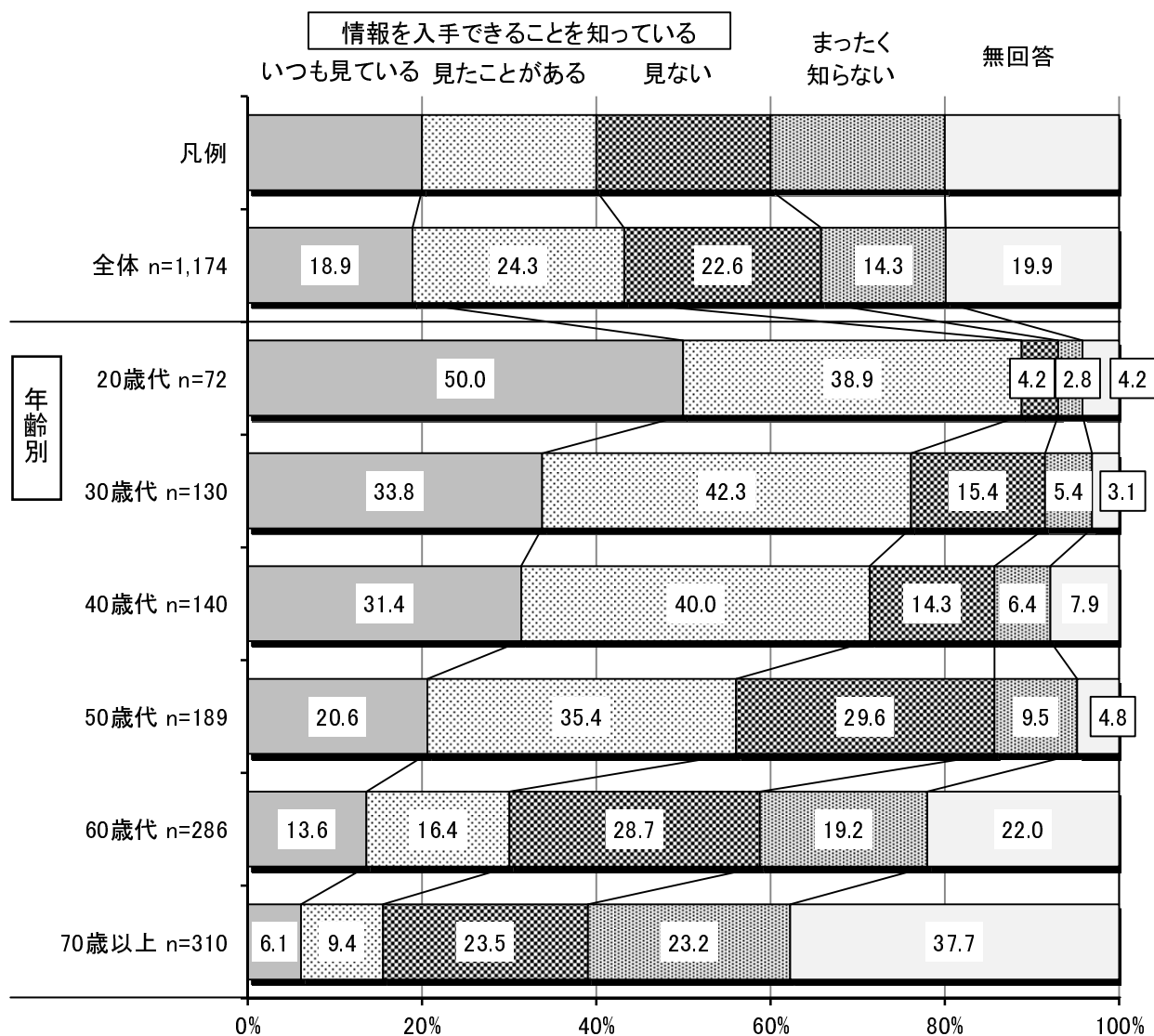
③ インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)

◇年齢別

- ・ 「いつも見ている」、「見たことがある」は年齢が上がるほど低くなっており、
70歳以上では両方を合わせても15.5%

図 6-4 『現在の雨量の情報』の入手方法〔年齢別〕

■インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)



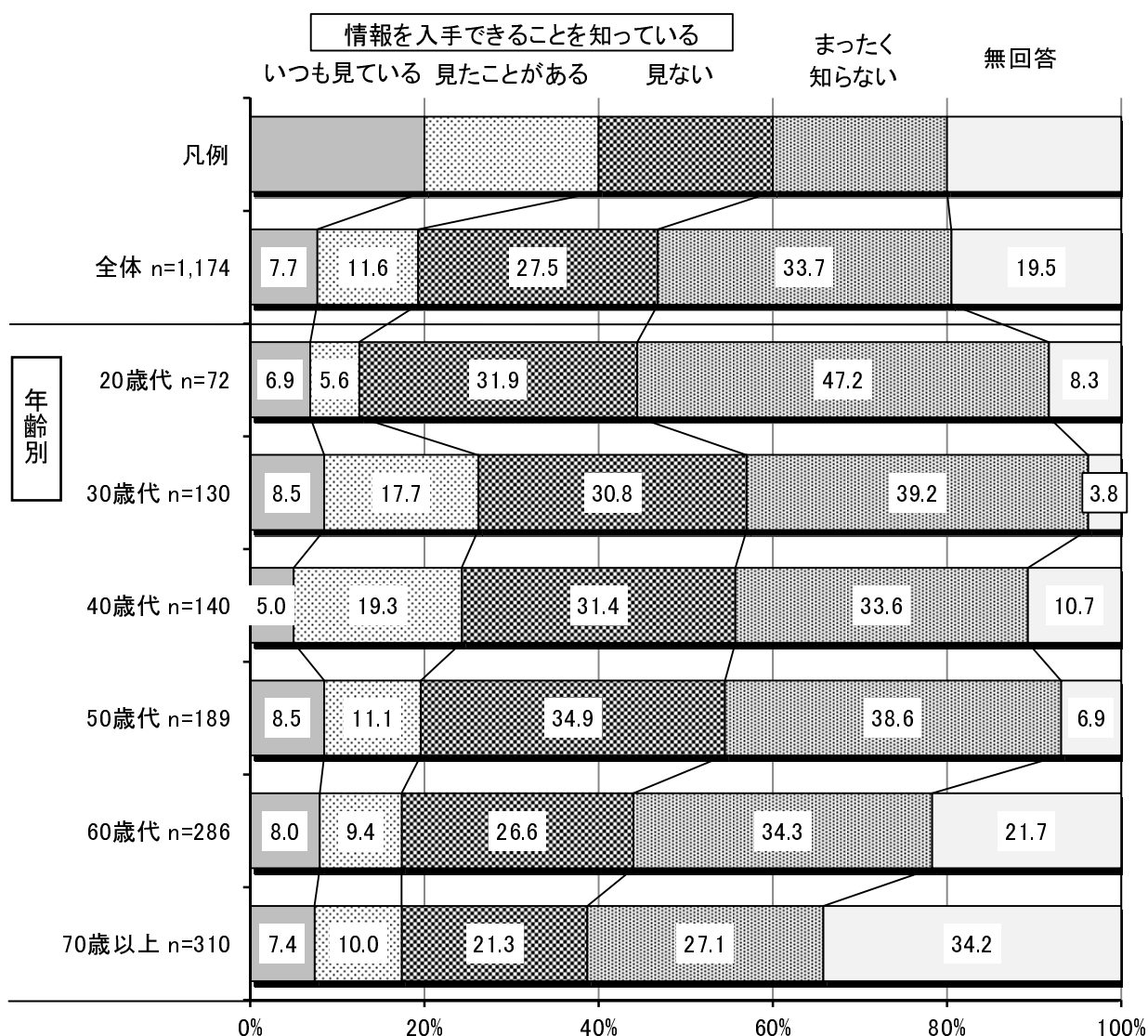
④ 県や市町の防災情報メール

◇年齢別

- ・ 「いつも見ている」は全年齢で5.0～8.5%と、10%にも満たない。
- ・ 「まったく知らない」は、携帯電話をよく利用する世代であるにも関わらず、20歳代が47.2%、30歳代が39.2%と高い。

図 6-5 『現在の雨量の情報』の入手方法〔年齢別〕

■県や市町の防災情報メール



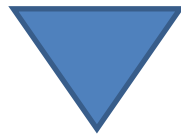
3. 行動目標(案)の「判断」して適切に「行動する」

(1) 大雨や台風の場合の行動開始時点

Q7-1 大雨や台風の場合、あなたはどの時点で判断して行動を開始しますか。〔〇は1つ〕

「行動」とは避難場所へ行く、友人宅へ行く、自宅の上階などに移動するなどすべての避難行動を含みます

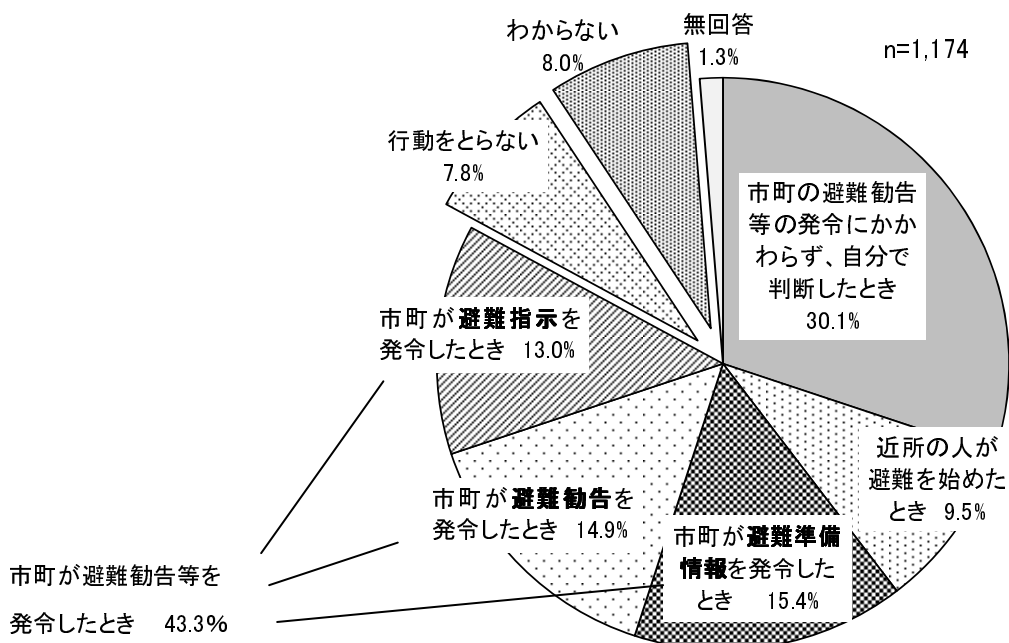
- 1 市町の避難勧告等の発令にかかわらず、自分で判断したとき
- 2 近所の人が始めたとき
- 3 市町が避難準備情報を発令したとき
- 4 市町が避難勧告を発令したとき
- 5 市町が避難指示を発令したとき
- 6 行動をとらない
- 7 わからない



【集計結果】

- ・ 「市町の避難勧告等の発令にかかわらず、自分で判断したとき」が30.1%
- ・ 市町が避難勧告等を発令したときの合計は43.3%
 - そのうち、「市町が避難準備情報を発令したとき」が15.4%
 - 「市町が避難勧告を発令したとき」が14.9%
 - 「市町が避難指示を発令したとき」が13.0%
- ・ 「行動をとらない」が7.8%、「わからない」が8.0%

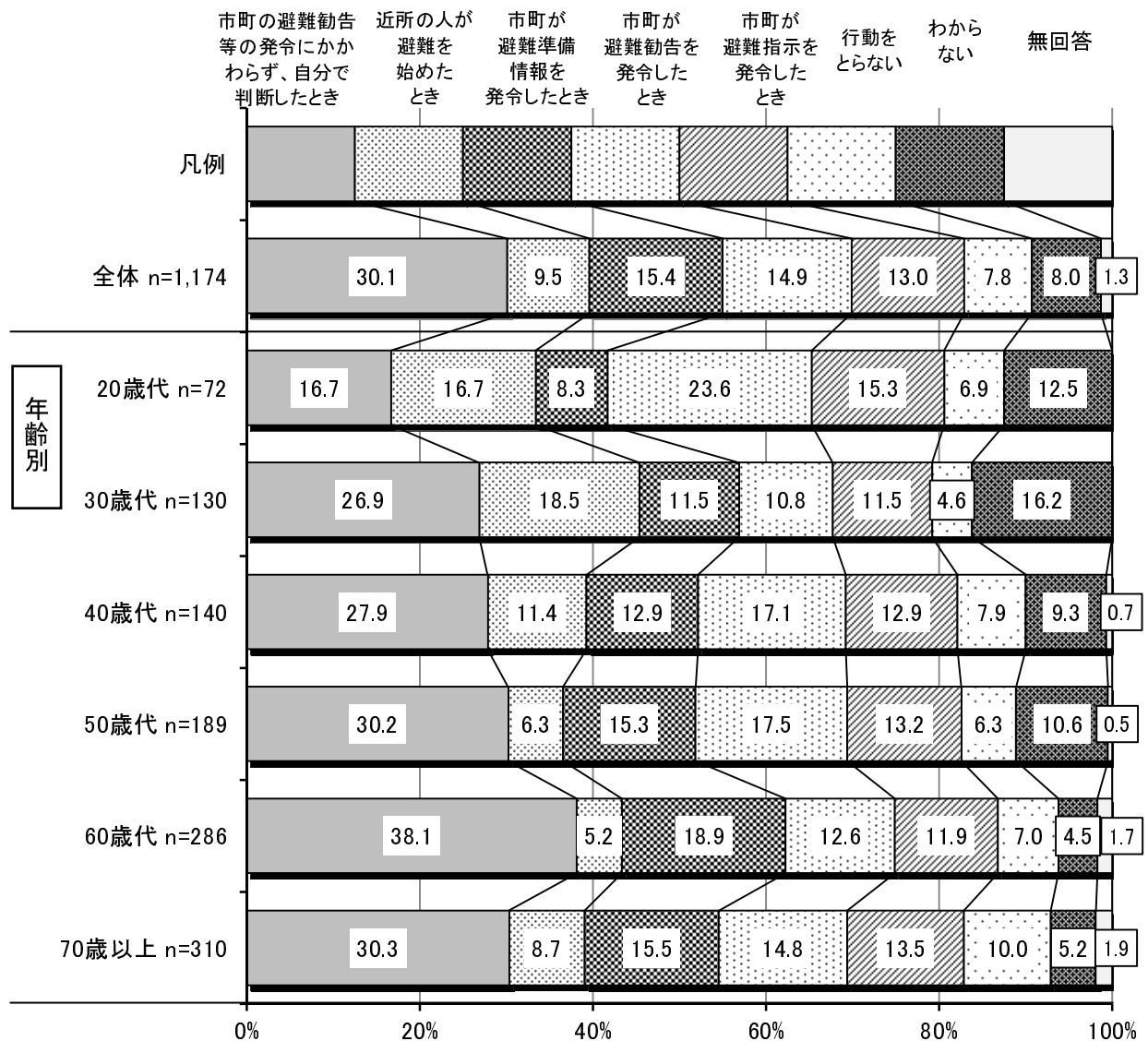
図 7-1-1 大雨や台風の場合の行動開始時点



◇年齢別

- ・ 「市町の避難勧告等の発令にかかわらず、自分で判断したとき」は、概ね年齢が上がるほど高くなっている。
- ・ 「行動をとらない」、「わからない」を合計した割合は、いずれの世代においても概ね10～20%

図 7-1-2 大雨や台風の場合の行動開始時点〔年齢別〕

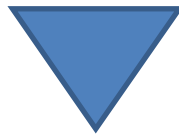


(2) 大雨や台風の場合、行動をとらない理由

Q7-1で「6 行動をとらない」と回答した方のみ、お答えください。

Q7-2 それはどうしてですか。〔〇はいくつでも〕

- 1 自宅が安全だから
- 2 避難する途中に災害にあうかもしれないから
- 3 どこに避難したらよいかわからないから
- 4 避難場所が遠いから
- 5 自分または家族に高齢者や乳幼児、体が不自由な人がいるから
- 6 理由は特にない
- 7 その他

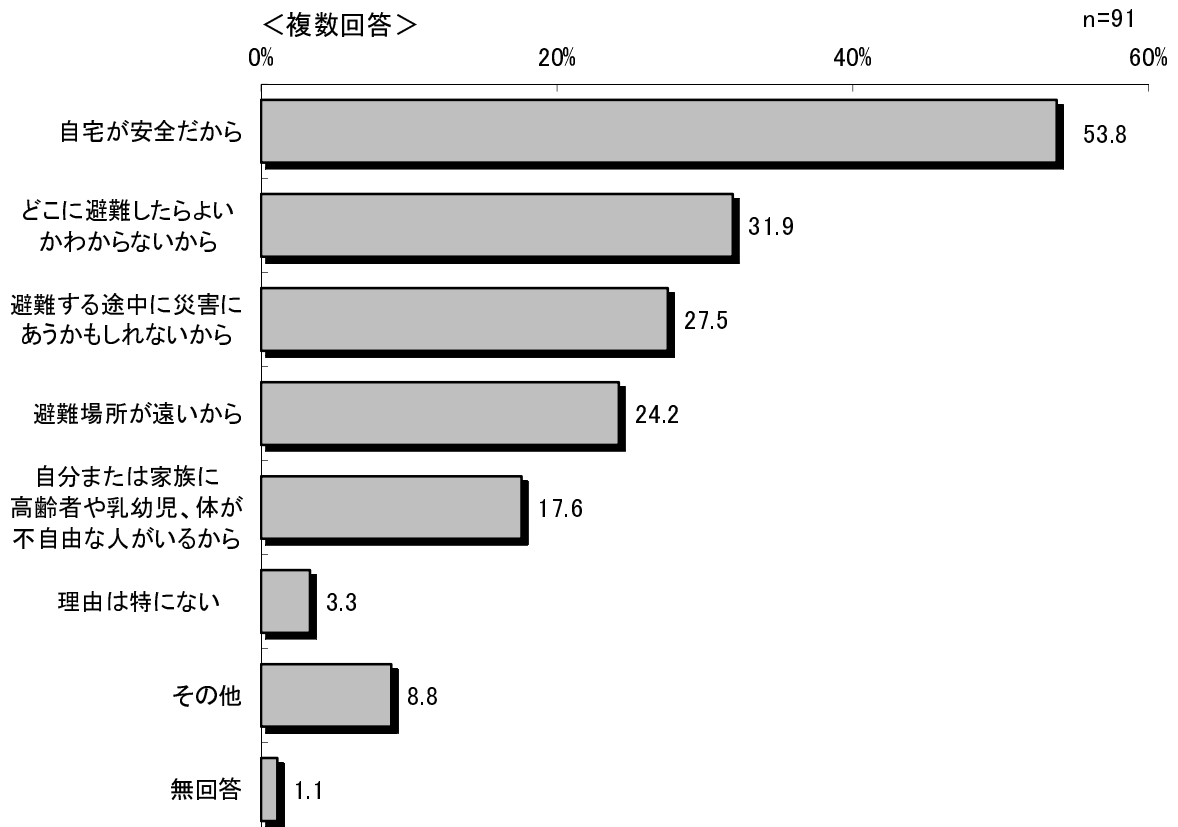


【集計結果】 <複数回答>

- ・ 大雨や台風の場合、「行動をとらない」理由については、「自宅が安全だから」が53.8%で最も高い。
- ・ 以下、「どこに避難したらよいかわからないから」(31.9%)、「避難する途中に災害にあうかもしれないから」(27.5%)、「避難場所が遠いから」(24.2%)、「自分または家族に高齢者や乳幼児、体が不自由な人がいるから」(17.6%)

Q7-1で「6 行動をとらない」と回答した方のみ

図 7-2-1 大雨や台風の場合、行動をとらない理由

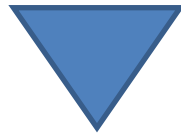


4. 行動目標(案)の 災害を「学ぶ」

(1) 地域や職場での防災活動参加状況

Q8-1 あなたは、過去1年間に、地域や職場で防災活動(防災教室や防災訓練等)に参加したことがありますか。〔〇は1つ〕

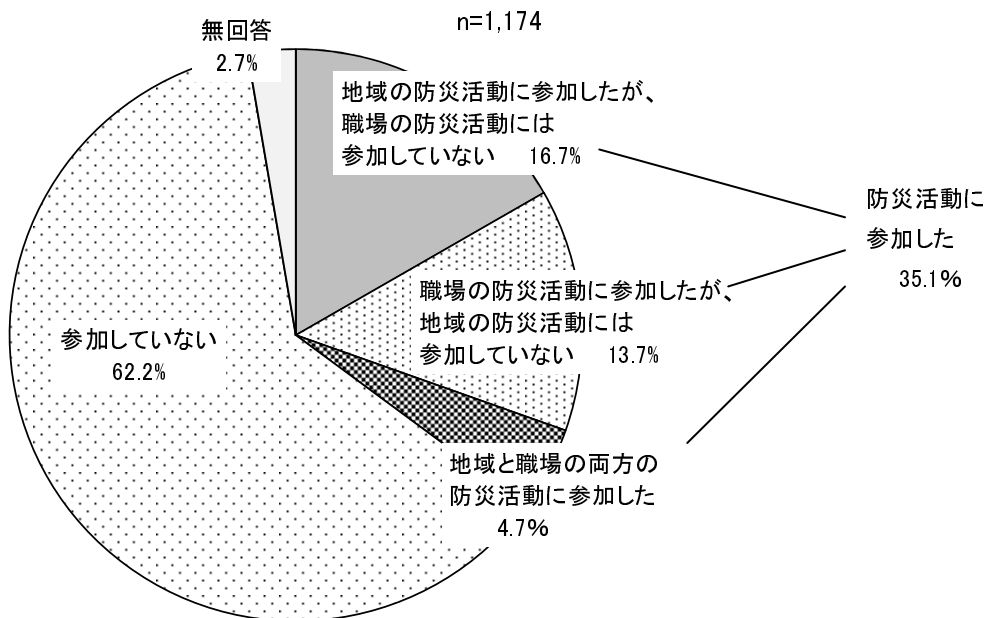
- 1 地域の防災活動に参加したが、職場の防災活動には参加していない
- 2 職場の防災活動に参加したが、地域の防災活動には参加していない
- 3 地域と職場の両方の防災活動に参加した
- 4 参加していない



【集計結果】

- ・ 『**防災活動**』に参加している割合は**35.1%**
- ・ そのうち、「地域の防災活動に参加したが、職場の防災活動には参加していない」が16.7%
「職場の防災活動に参加したが、地域の防災活動には参加していない」が13.7%
「地域と職場の両方の防災活動に参加した」が4.7%
- ・ 『**参加していない**』が**62.2%**

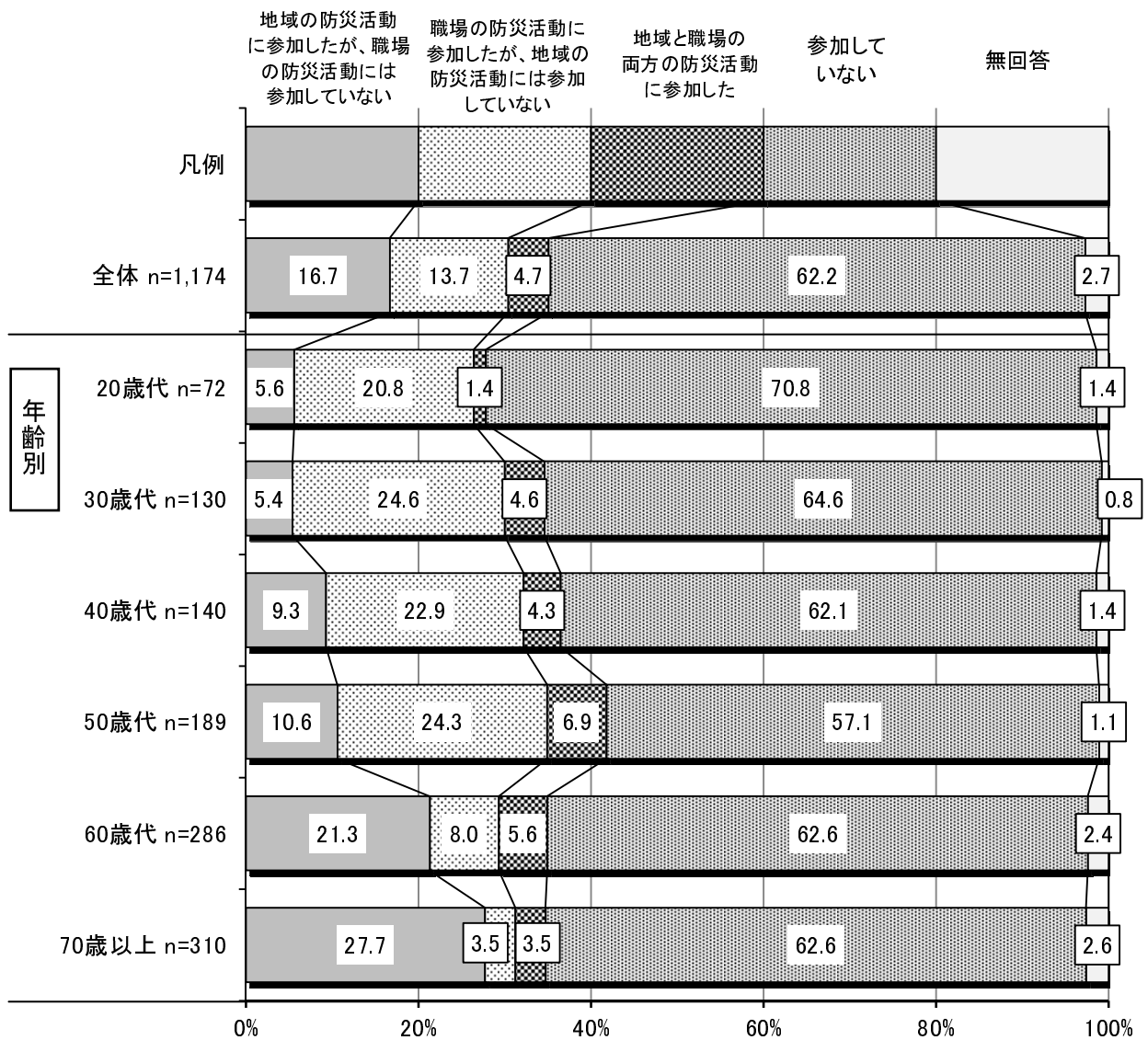
図 8-1-1 地域や職場での防災活動参加状況



◇年齢別

- ・ 20歳代から50歳代では、「地域の防災活動に参加した」は、20%以下と低い。
- ・ 20歳代から50歳代では、「職場の防災活動に参加した」のは20~30%
- ・ 「防災活動に参加していない」は、どの世代でも概ね60%を超えており、20歳代では70.8%と最も高い。

図 8-1-2 地域や職場での防災活動参加状況〔年齢別〕

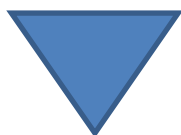


(2) 参加した防災活動

Q8-1で「1～3 参加した」と回答した方のみ、お答えください。

Q8-2 あなたが参加した防災活動は、どのようなものでしたか。〔〇はいくつでも〕

- | | |
|-------------------|----------|
| 1 避難訓練 | 2 消火訓練 |
| 3 救出・救助訓練 | 4 応急手当訓練 |
| 5 防災教室 | 6 防災講演会 |
| 7 町歩きを行い、危険な箇所の確認 | 8 その他 |



【集計結果】 <複数回答>

- 参加した防災活動については、「消火訓練」(61.2%)、「避難訓練」(59.7%)は多いが、「防災講演会」(14.8%)や「防災教室」(10.7%)は少ない。

Q8-1で「1～3 参加した」と回答した方のみ

図 8-2-1 参加した防災活動

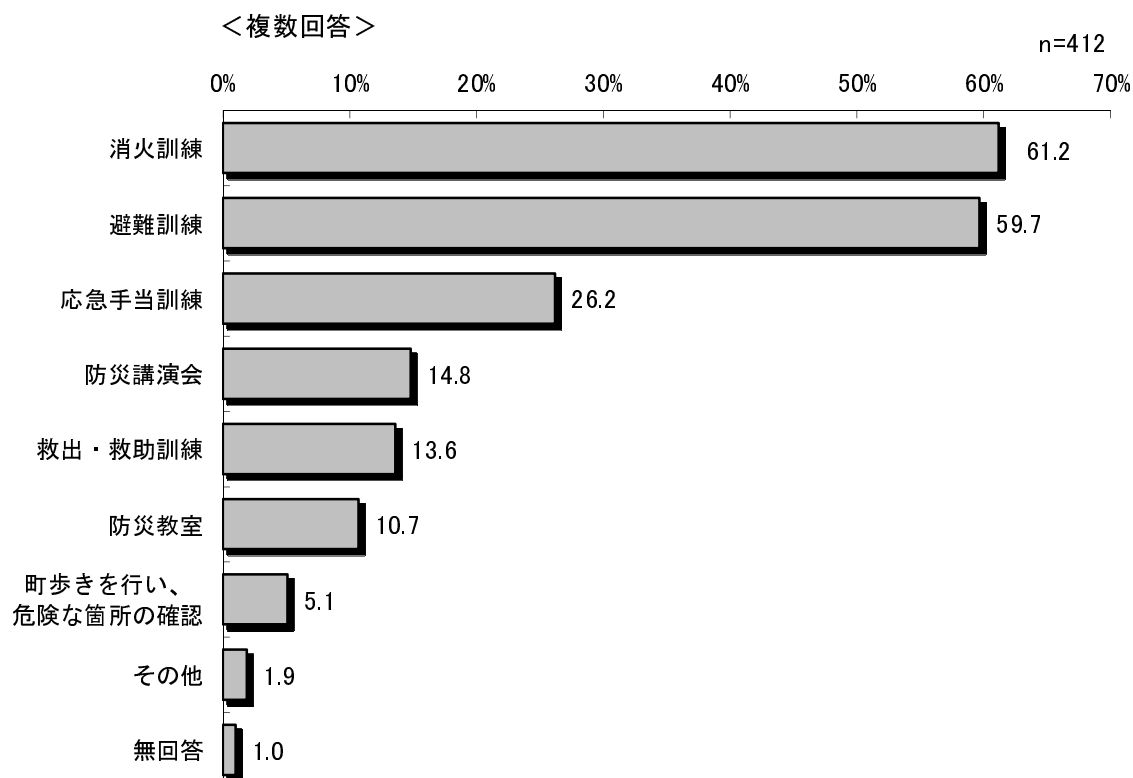
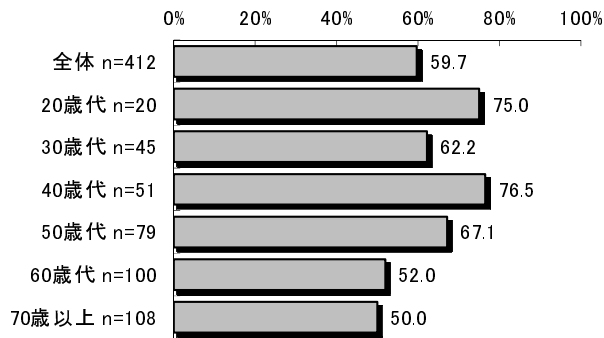
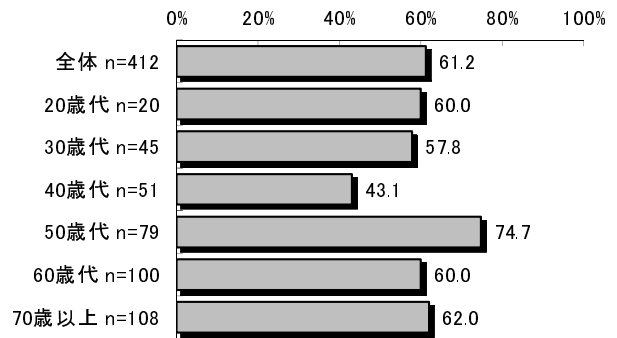


図 8-2-2 参加した防災活動〔年齢別〕

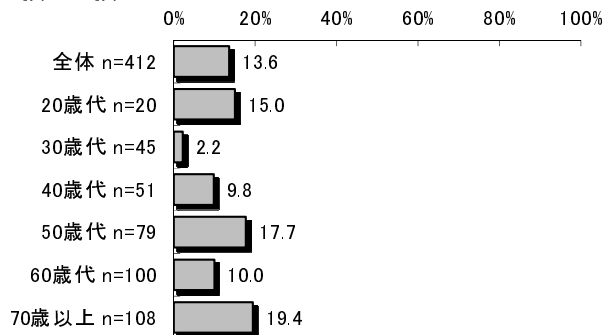
【避難訓練】 〈複数回答〉



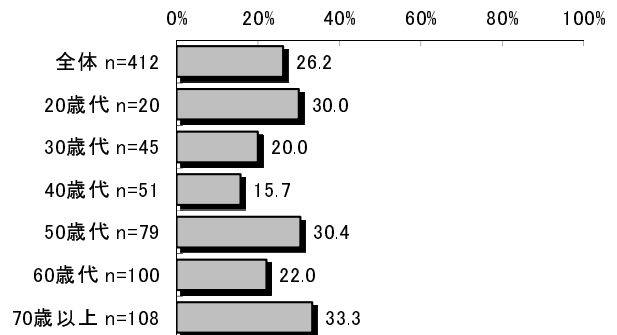
【消火訓練】



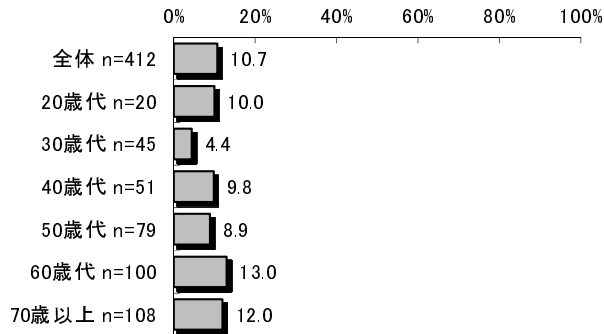
【救出・救助訓練】



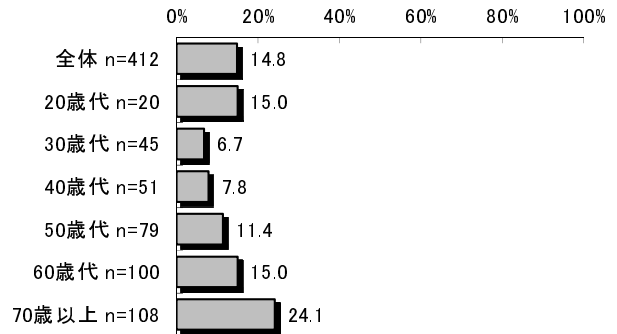
【応急手当訓練】



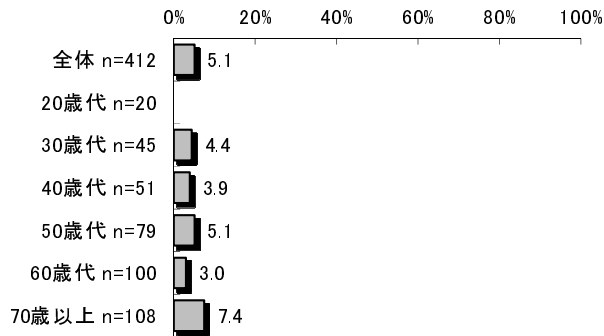
【防災教室】



【防災講演会】



【町歩きを行い、危険な箇所の確認】

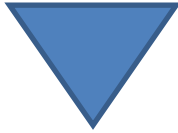


(3) 防災活動に参加しなかった理由

Q8-1 「4 参加していない」と回答した方のみ、お答えください。

Q8-3 あなたが防災活動に参加しなかった理由はどうしてですか。〔〇は1つ〕

- 1 他の用事があり、都合が悪かった
- 2 防災活動が実施されているかどうか知らない
- 3 防災活動への参加の必要性を感じない
- 4 その他



【集計結果】

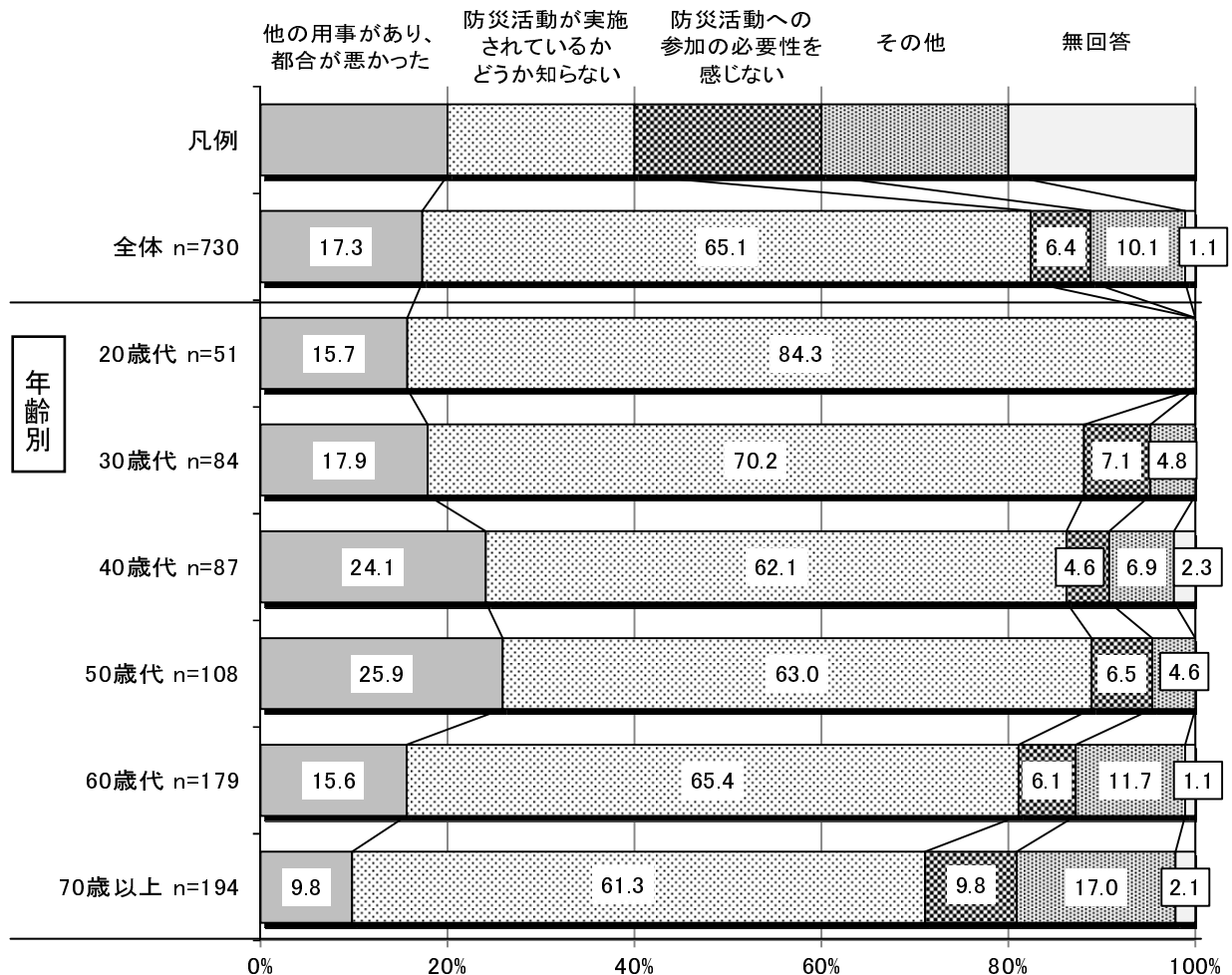
- ・ 「防災活動が実施されているかどうか知らない」は65.1%

◇年齢別

- ・ 「防災活動が実施されているかどうか知らない」はどの世代でも60%を超え、20歳代で84.3%と最も高い。

Q8-1 「4 参加していない」と回答した方のみ

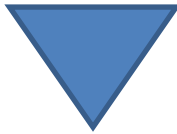
図 8-3 防災活動に参加しなかった理由〔年齢別〕



(4) 家族で防災対策について話し合ったことの有無

Q9 あなたは、過去1年間に、家族で食料の備蓄、避難場所、耐震化などの防災対策について話し合ったことがありますか。〔〇は1つ〕

- 1 話し合ったことがある
- 2 話し合ったことはない



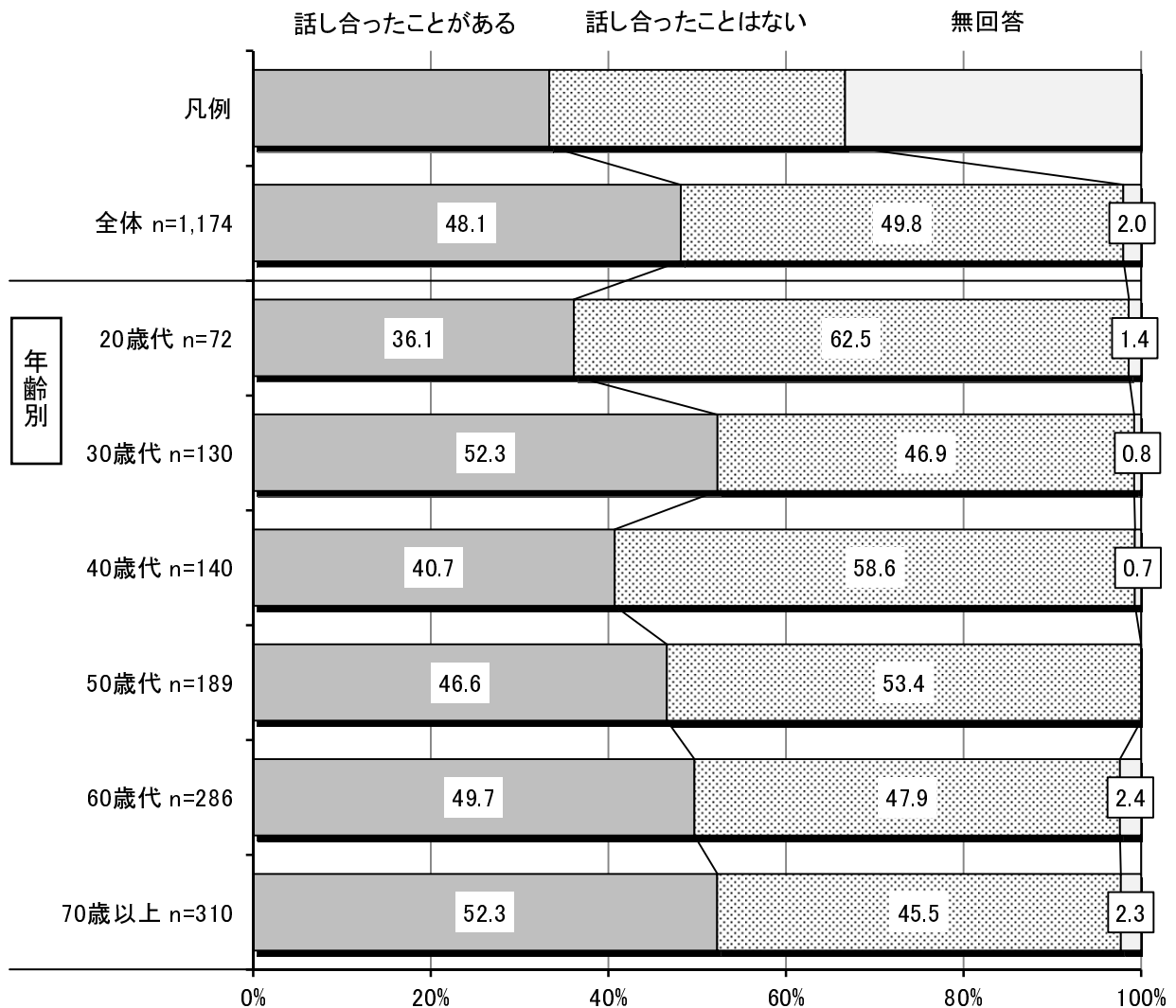
【集計結果】

- ・ 「話し合ったことがある」(48.1%)と「話し合ったことはない」(49.8%)は、ほぼ同率

◇年齢別

- ・ 「話し合ったことがある」は、30歳代と70歳以上が52.3%であるが、それ以外の世代では50%以下である。

図 9-1 家族で防災対策について話し合ったことの有無〔年齢別〕

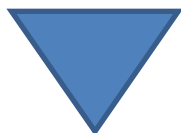


5. 行動目標(案)の 災害に「備える」

(1) 災害に備えて行っていること、災害に備えて重要であると思うこと

Q10 あなたは、災害に備えて次の各項目を行っていますか。また、災害に備えるために重要であると思われますか。〔それぞれ〇は1つ〕

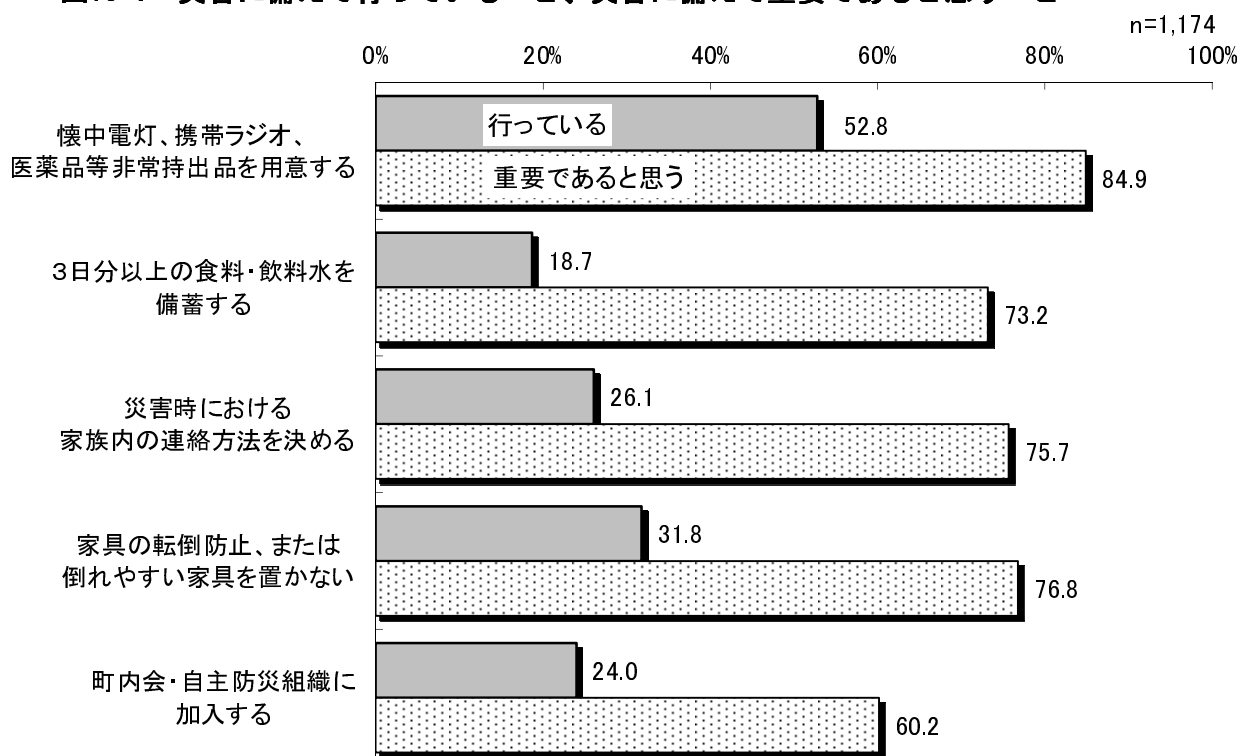
項目	行っている	行っていない		重要である	重要でない
1. 懐中電灯、携帯ラジオ、医薬品等非常持出品を用意する	1	2	⇒	1	2
2. 3日分以上の食料・飲料水を備蓄する	1	2	⇒	1	2
3. 災害時における家族内の連絡方法を定める	1	2	⇒	1	2
4. 家具の転倒防止、または倒れやすい家具を置かない	1	2	⇒	1	2
5. 町内会・自主防災組織に加入する	1	2	⇒	1	2



【集計結果】

- ・ 「懐中電灯、携帯ラジオ、医薬品等非常持出品を用意する」が52.8%
- ・ 「家具の転倒防止、または倒れやすい家具を置かない」が31.8%
- ・ いずれの項目においても、災害に備えることは『重要である』と思っているが、それが行動に結びついていない状況にある。

図10-1 災害に備えて行っていること、災害に備えて重要であると思うこと



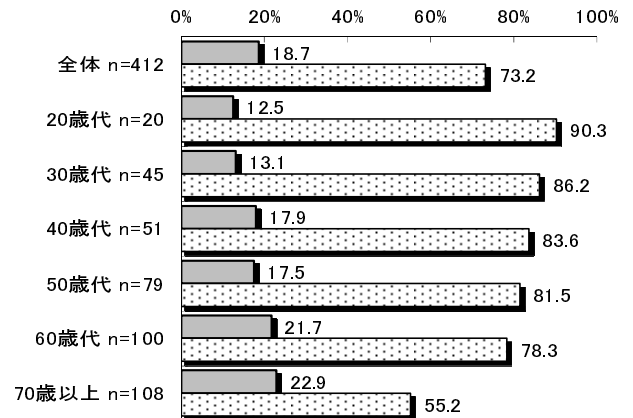
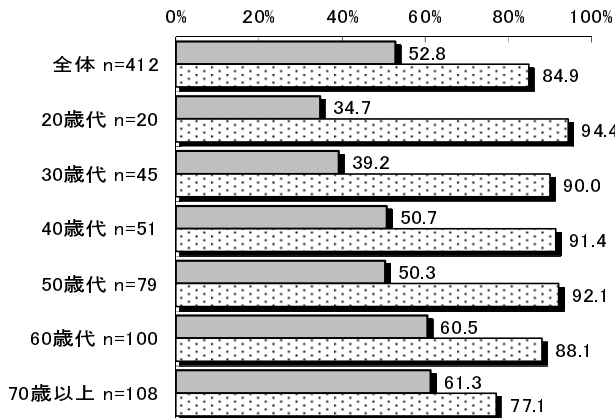
◇年齢別

- ・ 非常持出品の用意や食料等の備蓄については、年齢が下がるほど「行っている」人の割合が低くなっている。
- ・ 災害に備えることは『重要である』と思いながら行動に結びついていないギャップは、概ね年齢が下がるほど大きくなっている。

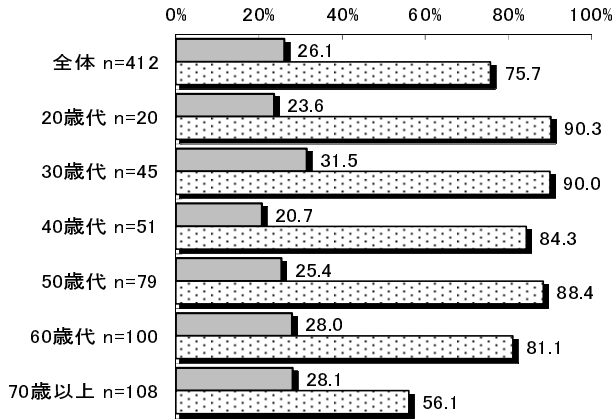
図10-2 災害に備えて行っていること、災害に備えて重要であると思うこと〔年齢別〕

〈複数回答〉

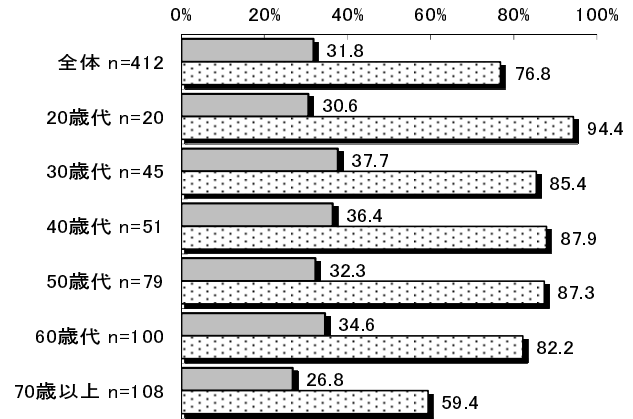
【懐中電灯、携帯ラジオ、医薬品等非常持出品を用意する】 【3日分以上の食料・飲料水を備蓄する】



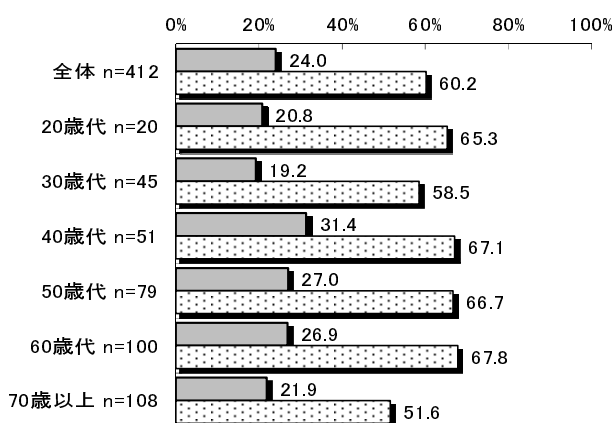
【災害時における家族内の連絡方法を定める】



【家具の転倒防止、または倒れやすい家具を置かない】



【町内会・自主防災組織に加入する】



凡例

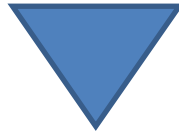
- 行っている
- 重要であると思う

(2) 自宅の家屋の建築時期

Q11 あなたの自宅の家屋は、いつ建築されましたか。〔〇は1つ〕

- 1 1981年(昭和56年6月)6月以降※
- 2 1981年(昭和56年5月)5月以前
- 3 わからない

※1981年(昭和56年)6月に建築基準法が改正され、耐震基準が強化されました。



【集計結果】

- ・ 建築基準法の耐震基準が強化される以前に、自宅の家屋が建築されたと答えたのは、37.4%

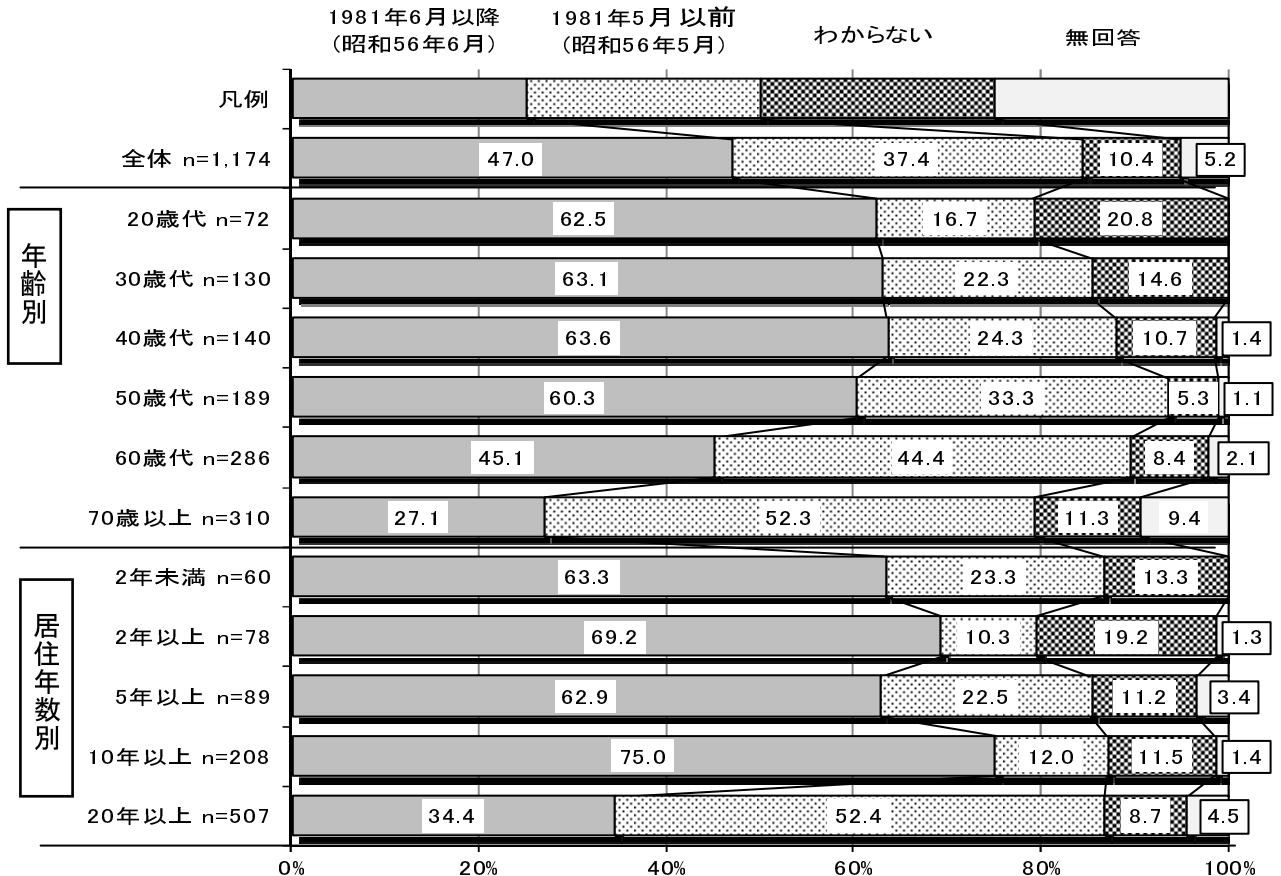
◇年齢別

- ・ 耐震基準が強化される以前に、自宅の家屋が建築された割合は、70歳代で52.3%と半数以上を占め、年齢が上がるほど高くなっている。

◇居住年数別

- ・ 居住年数20年以上では、52.4%の自宅の家屋が、耐震基準が強化される以前に建築された。

図11-1 自宅の家屋の建築時期〔年齢別・居住年数別〕



(3) 自宅の耐震診断実施の有無

Q11で「2 1981年5月以前」または「3 わからない」と回答した方のみ、お答えください。

Q12-1 あなたは、自宅の耐震診断を行ったことがありますか。〔〇は1つ〕

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

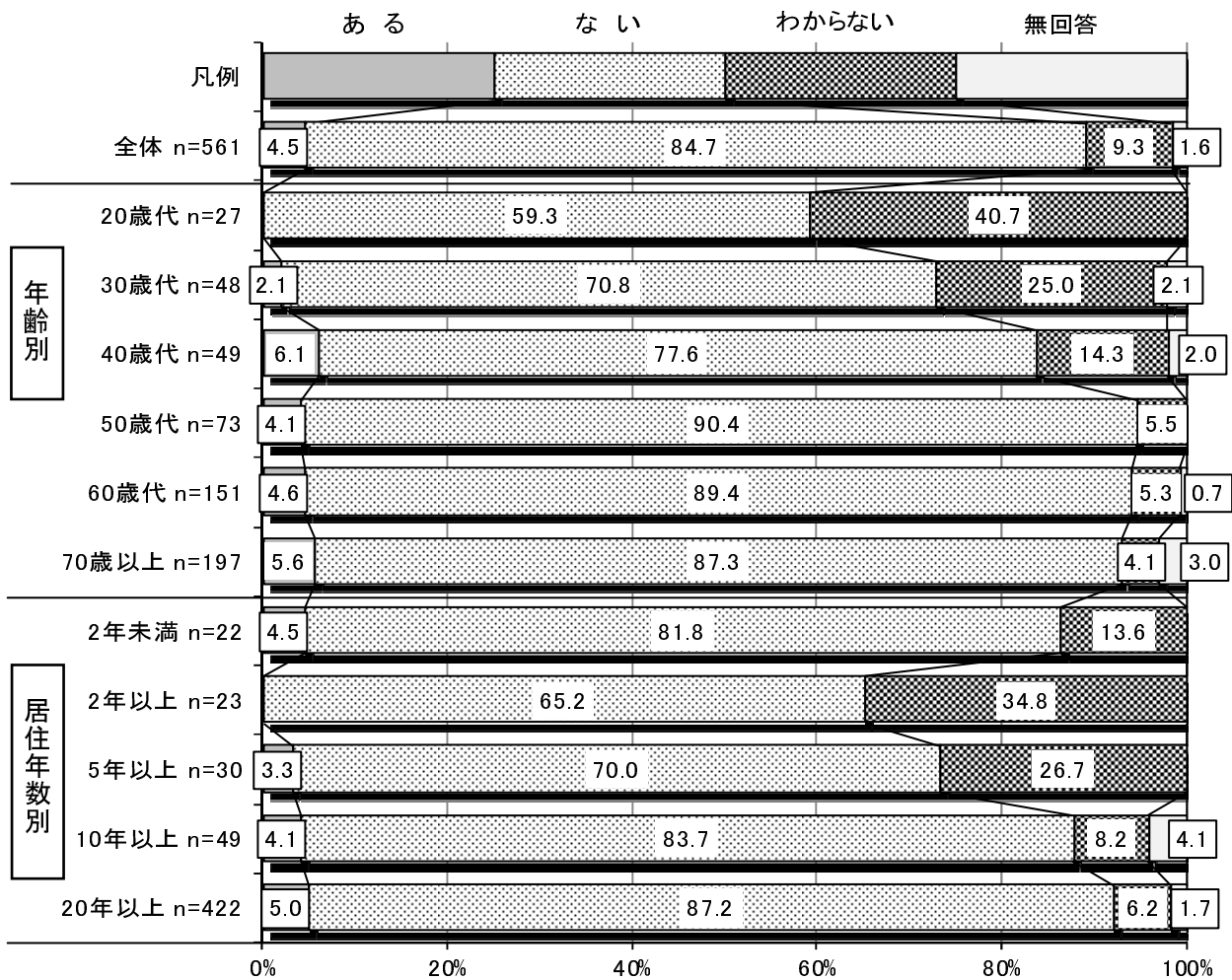


【集計結果】

- ・ 耐震基準が強化される以前に自宅家屋が建築された人、または建築時期がわからない人のうち、耐震診断を実施していない人は84.7%

Q11で「2 1981年5月以前」または「3 わからない」と回答した方のみ

図12-1 自宅の耐震診断実施の有無〔年齢別・居住年数別〕

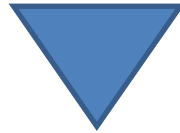


(4) 耐震診断の結果

Q12-1で「1 ある」と回答した方のみ、お答えください。

Q12-2 耐震診断の結果はいかがでしたか。〔〇は1つ〕

- 1 耐震性があることを確認した
- 2 耐震性がなかったため、耐震改修工事(建て替え)を実施した
- 3 耐震性がなかったため、耐震改修工事(建て替え)を考えている
- 4 耐震性はなかったが、耐震改修工事は考えていない



【集計結果】

- ・ **耐震診断を行ったことが「ある」と回答した方の診断結果** ※サンプル数が少ないので参考

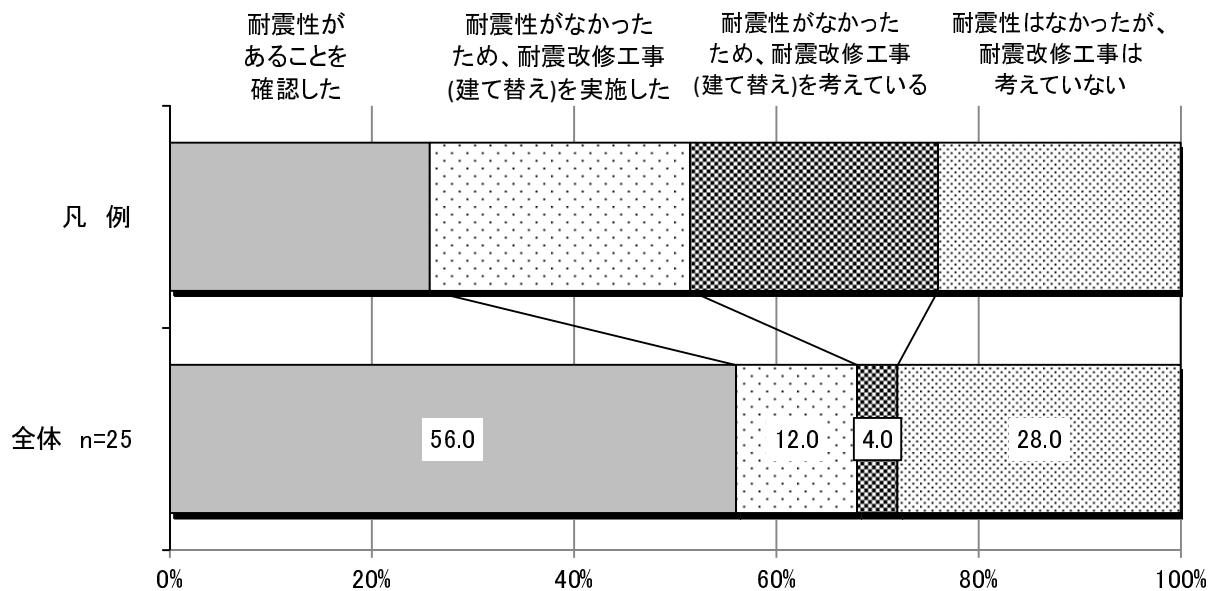
「耐震性があることを確認した」が 56.0%

「耐震性がなかった」が 44.0%

そのうち、「**耐震改修工事(建て替え)は考えていない**」は 28.0%

Q12-1で「1 ある」と回答した方のみ

図12-2 耐震診断の結果



(5) 耐震診断を行わない理由

Q12-1で「2 ない」と回答した方のみ、お答えください。

Q12-3 耐震診断を行わないのはどうしてですか。〔〇はいくつでも〕

- | | |
|------------|------------------|
| 1 借家だから | 2 集合住宅だから |
| 3 お金がかかるから | 4 やり方がわからないから |
| 5 面倒だから | 6 大地震がくるとは思えないから |
| 7 特に理由はない | 8 その他 |



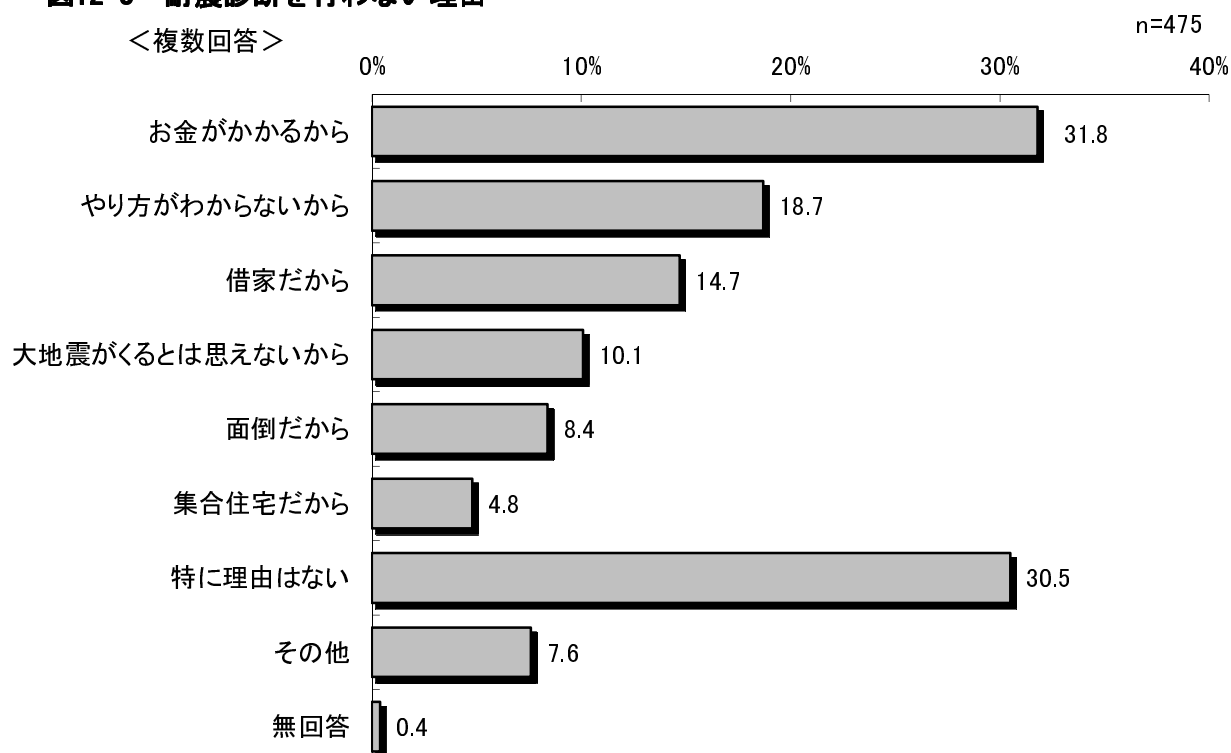
【集計結果】 <複数回答>

- 耐震診断を行ったことが「ない」と回答した方の理由は、
「お金がかかるから」が 31.8%
「やり方がわからないから」が 18.7%
「大地震が来るとは思えないから」は 10.1%

Q12-1で「2 ない」と回答した方のみ

図12-3 耐震診断を行わない理由

<複数回答>



<参考資料> 調査票

防災に関するアンケートへのご協力をお願い

日頃から県行政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

広島県では、災害時の被害をできる限り軽減するため、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」に向けての準備を進めているところです。

この度、この運動の取組内容を検討するため、県内にお住まいの20歳以上の方2,000人を無作為に選ばせていただき、別添のとおり防災に関するアンケートを送付させていただくこととしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、是非ご協力くださいますようお願いいたします。

平成26年11月

広島県危機管理課

ご記入にあたってのお願い

- 質問は、全部で12問あります。ご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
ご本人の記入が難しい場合は、ご本人の意向を確認いただき、ご家族の方等がご記入ください。
- ご回答は、番号に○をしてください。「その他」は〔 〕内に内容を具体的に書いてください。
- ご回答は、設問ごとに〔○は1つ〕〔○はいくつでも〕〔それぞれ1つ〕など指定されていますので、ご注意ください。
- お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、今回の目的以外に利用することは一切ありません。調査、分析は、株式会社成研に委託して実施しておりますが、個人情報の保護については、徹底いたします。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒で12月9日（火）までに投函してください。
切手は不要です。また、封筒にあなたのご住所、お名前を記入する必要はありません。

広島県危機管理監危機管理課（担当：伊藤）

住 所：〒730-8511 広島市中区基町10番52号

電 話：082-513-2784

FAX：082-227-2122

Eメール：kikikanri@pref.hiroshima.lg.jp

広島県では「災害に強い広島県」の実現を目指し、運動を展開しようと考えています。その運動の行動目標を、次のとおりとすることを考えています。

＜行動目標（案）＞

災害の危険性等を「知る」、災害発生をいち早く「察知する」、
「判断」して適切に「行動する」、普段から災害を「学ぶ」、災害に「備える」

行動目標(案)の 災害の危険性等を「知る」ことに関連して質問します。

Q1 あなたは、どの災害について、特に知りたいと思っていますか。〔〇はいくつでも〕

- | | | | |
|---------|------------|-----------|---------|
| 1 地震 | 2 津波 | 3 台風(暴風雨) | 4 豪雨 |
| 5 河川の氾濫 | 6 高潮 | 7 土砂災害 | 8 豪雪・雪崩 |
| 9 特にない | 10 その他 () | | |

Q2 あなたは、インターネットサイト※1や配布されたハザードマップ※2などで、お住まいの地域に地震、津波、洪水、高潮、土砂災害などの危険性があるかどうかを確認したことがありますか。〔それぞれ〇は1つ〕

※1 インターネットサイトとは、「広島県防災 web」で県が公開している「土砂災害ポータル」、「高潮・津波災害ポータル」や市町のホームページなど

※2 ハザードマップとは、自然災害の危険が予想される範囲や避難場所などの防災情報を示した地図のこと

項 目	マップは知っている		マップの存在を知らない
	確認したことがある	確認したことはない	
1. 県の防災Web または市町のホームページなどインターネット(Web)上で公開しているハザードマップ	1	2	3
2. 市町が紙に印刷して配布したハザードマップ	1	2	3
3. 地域住民が独自に作成した防災マップ	1	2	3

Q3 あなたは、お住まいの地域の避難場所・避難経路を、災害の種類（地震、土砂災害、高潮等）に応じて確認していますか。〔〇は1つ〕

- 1 災害の種類に応じて、避難場所・避難経路を確認している
- 2 避難場所・避難経路を確認しているが、「災害の種類に応じて」ではない
- 3 確認していない

Q4 あなたは、次の気象情報や防災情報の意味を知っていますか。〔それぞれ〇は1つ〕

項 目	知っている	ある程度知っている	言葉だけ聞いたことがある	まったく知らない
1. (大雨・洪水などの)警報	1	2	3	4
2. 土砂災害警戒情報	1	2	3	4
3. (大雨・洪水などの)特別警報	1	2	3	4
4. 避難準備情報	1	2	3	4
5. 避難勧告	1	2	3	4
6. 避難指示	1	2	3	4

行動目標(案)の「災害発生をいち早く「察知する」ことに関連して質問します。

Q5 あなたは、大雨や台風の際に、お住まいの地域の注意報や警報等に関する情報を、どこから入手しますか。〔〇はいくつでも〕

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1 テレビ | 2 ラジオ |
| 3 テレビのデータ放送※ | 4 インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む) |
| 5 県や市町の防災情報メール | 6 防災行政無線 |
| 7 市町の広報車 | 8 ツイッターやフェイスブックなどSNS |
| 9 消防署や消防団から | 10 町内会や自主防災組織から |
| 11 家族、友人、近所の方から | 12 その他 () |
| 13 特に参考にしない | |

※ データ放送とは、テレビリモコンのdボタンを押すと表示される気象等の情報

Q6 あなたは、大雨や台風の際に、お住まいの地域の『現在の雨量の情報』を、どこから入手しますか。〔〇はそれぞれ1つ〕

項 目	情報を入手できることを知っている			まったく知らない
	いつも見ている	見たことがある	見ない	
1. テレビの天気予報	1	2	3	4
2. テレビのデータ放送	1	2	3	4
3. インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)	1	2	3	4
4. 県や市町の防災情報メール	1	2	3	4

行動目標(案)の「判断」して適切に「行動する」ことに関連して質問します。

Q7-1 大雨や台風の場合、あなたはどの時点で判断して行動を開始しますか。〔〇は1つ〕

「行動」とは避難場所へ行く、友人宅へ行く、自宅の上階などに移動するなどすべての避難行動を含みます。

- 1 市町の避難勧告等の発令にかかわらず、自分で判断したとき
- 2 近所の方が避難を始めたとき
- 3 市町が避難準備情報を発令したとき
- 4 市町が避難勧告を発令したとき
- 5 市町が避難指示を発令したとき
- 6 行動をとらない
- 7 わからない

Q7-1で「6 行動をとらない」と回答した方のみ、お答えください。

→ Q7-2 それはどうしてですか。〔〇はいくつでも〕

- 1 自宅が安全だから
- 2 避難する途中に災害にあうかもしれないから
- 3 どこに避難したらよいかわからないから
- 4 避難場所が遠いから
- 5 自分または家族に高齢者や乳幼児、体が不自由な人がいるから
- 6 理由は特にない
- 7 その他 ()

行動目標(案)の 災害を「学ぶ」ことに関連して質問します。

Q8-1 あなたは、過去1年間に、地域や職場で防災活動(防災教室や防災訓練等)に参加したことがありますか。〔〇は1つ〕

- 1 地域の防災活動に参加したが、職場の防災活動には参加していない
- 2 職場の防災活動に参加したが、地域の防災活動には参加していない
- 3 地域と職場の両方の防災活動に参加した
- 4 参加していない

Q8-1で「1～3 参加した」と回答した方のみ、お答えください。

→ Q8-2 あなたが参加した防災活動は、どのようなものでしたか。〔〇はいくつでも〕

- 1 避難訓練
- 2 消火訓練
- 3 救出・救助訓練
- 4 応急手当訓練
- 5 防災教室
- 6 防災講演会
- 7 町歩きを行い、危険な箇所の確認
- 8 その他 ()

Q8-1で「4 参加していない」と回答した方のみ、お答えください。

→ Q8-3 あなたが防災活動に参加しなかった理由はどうしてですか。〔〇は1つ〕

- 1 他の用事があり、都合が悪かった
- 2 防災活動が実施されているかどうか知らない
- 3 防災活動への参加の必要性を感じない
- 4 その他 ()

Q9 あなたは、過去1年間に、家族で食料の備蓄、避難場所、耐震化などの防災対策について話し合ったことがありますか。〔〇は1つ〕

- 1 話し合ったことがある
- 2 話し合ったことはない

行動目標(案)の 災害に「備える」ことに関連して質問します。

Q10 あなたは、災害に備えて次の各項目を行っていますか。また、災害に備えるために重要であると思われませんか。〔それぞれ〇は1つ〕

項 目	行っている	行っていない		重要である	重要でない
1. 懐中電灯、携帯ラジオ、医薬品等非常持出品を用意する	1	2	⇒	1	2
2. 3日分以上の食料・飲料水を備蓄する	1	2	⇒	1	2
3. 災害時における家族内の連絡方法を定める	1	2	⇒	1	2
4. 家具の転倒防止、または倒れやすい家具を置かない	1	2	⇒	1	2
5. 町内会・自主防災組織に加入する	1	2	⇒	1	2

Q11 あなたの自宅の家屋は、いつ建築されましたか。〔〇は1つ〕

- 1 1981年(昭和56年6月)6月以降※
- 2 1981年(昭和56年5月)5月以前
- 3 わからない

※1981年(昭和56年)6月に建築基準法が改正され、耐震基準が強化されました。

Q11で「2 1981年5月以前」または「3 わからない」と回答した方のみ、お答えください。

→ Q12-1 あなたは、自宅の耐震診断を行ったことがありますか。〔〇は1つ〕

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

Q12-1で「1 ある」と回答した方のみ、お答えください。

→ Q12-2 耐震診断の結果はいかがでしたか。〔〇は1つ〕

- 1 耐震性があることを確認した
- 2 耐震性がなかったため、耐震改修工事(建て替え)を実施した
- 3 耐震性がなかったため、耐震改修工事(建て替え)を考えている
- 4 耐震性はなかったが、耐震改修工事は考えていない

Q12-1で「2 ない」と回答した方のみ、お答えください。

→ Q12-3 耐震診断を行わないのはどうしてですか。〔〇はいくつでも〕

- | | |
|------------|------------------|
| 1 借家だから | 2 集合住宅だから |
| 3 お金がかかるから | 4 やり方がわからないから |
| 5 面倒だから | 6 大地震がくるとは思えないから |
| 7 特に理由はない | 8 その他 () |

【最後に…】

質問はこれで終わりですが、お答えいただいたことを統計的に分析するため、あなたご自身やご家族のことについて、もう少しお聞かせください。

F 1 あなたの性別をお聞かせください。〔○は1つ〕

- 1. 男性
- 2. 女性

F 2 あなたの年齢をお聞かせください。〔○は1つ〕

- 1. 20 歳代
- 2. 30 歳代
- 3. 40 歳代
- 4. 50 歳代
- 5. 60 歳代
- 6. 70 歳以上

F 3 あなたのご家族（同居）の構成をお聞かせください。〔○は1つ〕

- 1. 1人世帯
- 2. 1世代家族（夫婦のみ）
- 3. 2世代家族（親と子）
- 4. 3世代家族（親と子と孫）
- 5. その他（ ）

F 4 あなたは今の住居に何年住んでいますか。〔○は1つ〕

- 1. 2年未満
- 2. 2年以上
- 3. 5年以上
- 4. 10年以上
- 5. 20年以上

アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。

防災に関するアンケート結果

発行日 平成27年1月

発行 広島県危機管理監危機管理課

〒730-8511 広島市中区基町 10 番 52 号

TEL/FAX: (082) 513-2784

E-mail: kikikanri@pref.hiroshima.lg.jp